

(議員用)

2026 年 4 月 14 日

宝塚市議会議長 様

議員名(※) 持田 ちえ



(※) 自署しない場合は記名押印してください。

2025年度 政務活動費収支報告書

宝塚市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項の規定に基づき、下記のとおり、2025年度政務活動費に係る収入及び支出を報告します。

記

1 収入 政務活動費 912,000 円

2 支出

科 目	金 額
研究・研修会費	154,273 円
調査費	47,900 円
広報費	330,050 円
広聴費	- 円
要請・陳情活動費	- 円
資料作成・購入費	4,800 円
人件費	- 円
事務費	3,289 円
合 計	540,312 円

3 残 額 371,688 円

支 出 内 訳 書

科 目	内 訳	
研究・研修会費 (154,273 円)	(1) 会場費	- 円
	(2) 講師謝金・旅費	- 円
	(3) 出席者負担金・会費	20,000 円
	(4) 旅費	134,273 円
	(5) 交通費	- 円
	(6) その他	- 円
調査費 (47,900 円)	(1) 旅費	47,900 円
	(2) 交通費	- 円
	(3) その他	- 円
広報費 (330,050 円)	(1) 広報紙・報告書印刷費	183,750 円
	(2) 送料	146,300 円
	(3) 会場費	- 円
	(4) その他	- 円
広聴費 (0 円)	(1) 旅費	- 円
	(2) 交通費	- 円
	(3) 会場費	- 円
	(4) 印刷費	- 円
	(5) その他	- 円
要請・陳情活動費 (0 円)	(1) 旅費	- 円
	(2) 交通費	- 円
	(3) 印刷費	- 円
	(4) その他	- 円
資料作成・購入費 (4,800 円)	(1) 資料作成費	- 円
	(2) 翻訳料	- 円
	(3) 書籍・新聞等購入代	4,800 円
	(4) その他	- 円
人件費 (0 円)	(1) 賃金	- 円
事務費 (3,289 円)	(1) 事務消耗品費	3,289 円
	(2) 備品費	- 円
	(3) 電話料	- 円
	(4) その他	- 円

2025年度 政務活動費会計帳簿

(会派名または議員名 持田 ちえ)

支出番号	月日	支出先	支出内容	金額	科目・内訳	ポイント	ポイント 分減額	コード
1	5月8日	コーナン	ボールペン@96×6本	576	8事務費 1事務消耗品費	無		801
2	6月7日	紀伊國屋書店	書籍 1%の革命/安野貴博 今さら聞けない「日本政治の超基本」/朝日新聞社	3,300	6資料作成・購入費 3書籍・新聞等購入代	無		603
3	9月11日	無印良品	バインダー	550	8事務費 1事務消耗品費	無		801
4	10月13日	COMPASS/西店	筆記具¥132 ノート¥783	915	8事務費 1事務消耗品費	無		801
5								
6	3月15日	若草HUTTE	地域コミュニティ誌代	1,500	6資料作成・購入費 3書籍・新聞等購入代	無		603
7	1月29日	阪急バス/阪急電車/JR/東京メトロ	山手台3丁目⇄阪急山本駅@250×2/山本⇄大阪梅田@290×2/大阪⇄新大阪@180×2/東京→赤坂見附・霞が関→東京@178×2	1,796	1研究・研修会費 4旅費	無		104
8	1月29日	JR西日本	1/29新大阪→東京¥14,320 東京→新大阪¥14,520 出張調査報告書は支出書No7に添付	28,840	1研究・研修会費 4旅費	無		104
9	1月26日	Agoda International Japan	1/29～1/30 宿泊代 出張調査報告書は支出書No7に添付	13,154	1研究・研修会費 4旅費	無		104
10	8月3日	ホテルルートイン 塩尻	8/3～8/5宿泊料 (2泊)	21,300	2調査費 1旅費	無		201
11	7月27日	西日本旅客鉄道株式会社	新幹線 8/3：新大阪→名古屋 8/5：名古屋→新大阪 出張調査報告書は支出書No10に添付	13,360	2調査費 1旅費	無		201
12	7月27日	JR	8/3：名古屋→塩尻 出張調査報告書は支出書No10に添付	6,010	2調査費 1旅費	無		201
13	8月5日	JR塩尻駅	8/5：塩尻→名古屋 出張調査報告書は支出書No10に添付	5,810	2調査費 1旅費	無		201
14	8月3日	阪急バス/阪急電車/JR	領収書原本は、浅谷議員の支出書No.8に添付 8/3⇄8/5 山手台3丁目⇄阪急山本駅@240×2/山本⇄大阪梅田@290×2 /大阪⇄新大阪@180×2 出張調査報告書は支出書No10に添付	1,420	2調査費 1旅費	無		201
15	5月25日	文化芸術センター	ノート代	550	8事務費 1事務消耗品費	無		801
16	12月7日	COMPASS/西店	ノート代	698	8事務費 1事務消耗品費	無		801
17	7月12日	JR東海	新大阪⇄名古屋 新幹線	12,960	1研究・研修会費 4旅費	無		104
18	7月13日	阪急バス/阪急電車/JR/名古屋メトロ	7/13 山手台3丁目⇄阪急山本駅@240×2/山本⇄大阪梅田@290×2/大阪⇄新大阪@180×2/ 名古屋⇄桜山@270×2 出張調査報告書は支出書No17に添付	1,960	1研究・研修会費 4旅費	無		104

(会派名または議員名 持田 ちえ)

政務活動費支出書

支出科目	事務費	内 訳	事務消耗品費	支出番号	1
支 出 日	2025年5月8日		支出金額	576 円	
支 出 先	コーナン				
支出内容	ボールペン@96×6本				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

領収証 コーナン

領 収 証

持 田 ち ん 様

¥576-

2025年05月08日(木) 発行
レシート No. (0155)002-57850-00427

(消費税 52円を含みます) 576円

(10%対象 (8%対象 (非課税対象 (10%対象消費税 (8%対象消費税

クレジットカード
VISA

576円

〒中山寺駅前店
コーナン商事株式会社
大阪府堺市西区鳳東町4-401-1
電話番号:050-3146-5776
※本書は保管上のお願いで、
財布・手帳等にはさんで保管
場合、印刷面を内側に折り保管
をお願いします。

登録番号: 13120101003135
領収日: 2025年05月08日
但し、正に領収いたしました
上記、正に領収いたしました



返品・交換はこの領収証をご持参
頂き2週間以内にお願ひ致します

お買上明細

#014 JAN4901681223930

ジェルボールペンサラサクリ

@96 × 3 288円

#014 JAN4901681223916

ジェルボールペンサラサクリ

@96 × 3 288円

小計金額

¥576

別紙様式 1

(会派名または議員名 持田 ちえ)

政務活動費支出書

支出科目	資料作成・購入費	内 訳	書籍・新聞等購入代	支出番号	2
支 出 日	2025年6月7日		支出金額	3,300 円	
支 出 先	紀伊國屋書店				
支出内容	書籍 1 %の革命/安野貴博 今さら聞けない「日本政治の超基本」/朝日新聞社				

<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可

ポイント

無

円減額

紀伊國屋書店

領 収 証

梅田本店
TEL 06-6372-5821【営業時間 10時～21時】
☆世界のトランプ・タロット展☆
西のけ-前 リゾナバ-外コナにて
好評開催中!!
※最終日6/26(木) 19時終了

2025年06月07日(土) 15時25分 #4227

9784163919393 C0095 Y1600
1%の革命 ビジネス・暮らし ¥1,600
9784023334298 C2031 Y1400
今さら聞けない 日本 ¥1,400

2点 小計 ¥3,000

合計 ¥3,300

(内消費税 ¥300)
(10%対象 ¥3,300 消費税 ¥300)クレジットカード ¥3,300
伝票No. 47061店:0038 店:0052 36622
登録番号 T4011101005131

01003800522506074227

(会派名または議員名 持田 ちえ)

政務活動費支出書

支出科目	事務費	内 訳	事務消耗品費	支出番号	3
支 出 日	2025年9月11日		支出金額	550 円	
支 出 先	無印良品				
支出内容	バインダー				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

無印良品

領 収 証

阪急西宮ガーデンズ
TEL 0798-31-0847
登録番号: T5013301012443

ポリプロピレンバインダー
@550 1点 550

お買上点数 1点

合計 ¥550

(消費税等 ¥50)

(10%対象 ¥550 消費税 ¥50)

お預り ¥550

お釣り ¥0

*は軽減税率8%適用商品

4960/401/046333 2025/09/11 17:06



(会派名または議員名 持田 ちえ)

政務活動費支出書

支出科目	事務費	内 訳	事務消耗品費	支出番号	4
支 出 日	2025年10月13日		支出金額	915 円	
支 出 先	COMPASS川西店				
支出内容	筆記具¥132 ノート¥783				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

0000-7128

202

領 収 証
持田 ちえ 様

¥915-

(消費税等 ¥83)

COMPASS

但し、
COMPASS 川西店
TEL:072-767-6651

兵庫県川西市栄町25-1 アステ川西 B1F

*保管上のお願

登録番号 T7122001006008

財布等で保管戴く場合、印刷面を内側に折って保管願います。

COMPASS川西店
兵庫県川西市栄町25-1 アステ川西 B1F
TEL:072-767-6651

2025年10月13日(月)No0

筆記	¥132
ノート	¥783
小 計	¥915
10%対象	¥915
10%税	¥83
クレジット	¥915
(うち消費税等	¥83)

点数 2
登録番号 T7122001006008

1責

7128 15時25分

別紙様式 1

(会派名または議員名 持田 ちえ)

政務活動費支出書

支出科目	資料作成・購入費	内 訳	書籍・新聞等購入代	支出番号	6
支 出 日	2026年3月15日		支出金額	1,500 円	
支 出 先	若草HUTTE				
支出内容	地域コミュニティ誌代				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

0003-0001
会計日：2026/3/15

領 収 書

持田ちえ 様

領収金額
¥1,500-
(10%標準対象 ¥1,500)
(内消費税等 ¥136)
(クレジットカード(AirPay) ¥1,500)

上記正に領収いたしました

但地域コミュニティ誌代として

若草HUTTE
〒880-0805 宮崎市橘通東
3丁目5-33
TEL：0985-41-5359
登録番号：T9810357129813

担当者：
領収書No:000320260315102831280

別紙様式 1

(会派名または議員名 持田 ちえ)

政務活動費支出書

支出科目	研究・研修会費	内 訳	旅費	支出番号	7
支 出 日	2026年1月29日		支出金額	1,796 円	
支 出 先	阪急バス/阪急電車/JR/東京メトロ				
支出内容	山手台3丁目⇄阪急山本駅@250×2/山本⇄大阪梅田@290×2/大阪⇄新大阪@180×2/東京→赤坂見附・霞が関→東京@178×2				
＜領収書等添付欄＞ 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

供	議 長	副議長	局 長	次 長	課 長	副課長	係 長	係	合
覧	別紙様式3-2 (議員用)								議

出張調査（研究・研修会参加）報告書 ✓

宝塚市議会議長 様

議員名 (※) 持田 ちえ

(※) 自署しない場合は記名押印してください。

出張調査（研究・研修会参加）の結果について、次のとおり報告します。

1 調査先（研究・研修会会場） デジタル庁、こども家庭庁

2 期 間 令和 8年 1月 29日 ～ 令和 8年 1月30 日

3 出張者氏名（議員名） 持田ちえ

4 調査項目、テーマ ※調査結果の概要、所見等については別紙を添付

地域幸福度指標について（デジタル庁）、はじめの100か月の育ちビジョン、5歳児健診について（こども家庭庁）

5 旅費

①鉄道賃等

月 日	交通機関	経 路	金額	領収書の有無※	備 考
1/29 ✓	阪急バス ✓	山手台三丁目～阪急山本駅 ✓	250円 ✓	有・無 ✓	
1/29 ✓	阪急電車 ✓	山本～大阪梅田 ✓	290円 ✓	有・無 ✓	
1/29 ✓	JR 大阪メトロ ✓	（梅田）～新大阪 ✓	180円 178円 ✓	有・無 ✓	
1/29 ✓	東京メトロ ✓	東京～赤坂見附 ✓	178円 ✓	有・無 ✓	
1/30 ✓	東京メトロ ✓	霞が関～東京 ✓	178円 ✓	有・無 ✓	
1/30 ✓	JR 大阪メトロ ✓	新大阪～（梅田） ✓	180円 170円 ✓	有・無 ✓	
1/30 ✓	阪急電車 ✓	大阪梅田～山本 ✓	290円 ✓	有・無 ✓	
小 合 計			1,534円		

※原則として領収書の添付が必要だが、券売機での切符購入等で領収書が徴しがたい場合は、2,000円以内の支出に限り、本報告書への記入をもって領収書の添付に代えるものとする。

②宿泊料

1人 1泊 金額 計 13,154円
16,503円

6 交通費 ガソリン代 円
高速代 円
駐車場代 円
自動車借上料 円
計 円

7 出席者負担金・会費 @ × 人 = 円

【記入要領】

- ア 出張調査（市内を除く）、研究・研修会参加（市外、市内とも）の場合、この報告書を作成すること。
イ 調査（研究・研修）結果の概要、所見等については別紙を添付すること（書式は任意）。
ウ 鉄道賃等は、現に要した実費を記入すること（領収書を別紙に添付する）。
ただし、行程等については経済的かつ合理的な経路及び方法によるものとする。
エ 通常の経路以外の経路を用いた場合は、その合理的な理由を備考欄に記入すること。
オ 宿泊料は、上限額（13,000円）以内で現に要した実費を記入すること（領収書を別紙に添付する）。
カ 鉄道賃等と宿泊料がセットになっている場合は、鉄道賃等の項に合計金額を記入し、その旨を備考欄に付記すること。
キ 交通費は、自家用車（バイクを含む）等を利用した場合に記入すること（領収書を別紙に添付する）。
ク 出席者負担金・会費は、支出があった場合に記入すること（領収書を別紙に添付する）。



旅費計算書

月 日	交通機関	経 路	金 額	備 考
1/30 ✓	阪急バス ✓	阪急山本駅～山手台三丁目 ✓	250 240円	領収書無 ✓
1/29 ✓	新幹線 ✓	新大阪～東京 ✓	14,320 14,720円	領収書有 ✓
1/30 ✓	新幹線 ✓	東京～新大阪 ✓	14,520 14,720円	領収書有 ✓
		～		
		～		
		～		
		～ (小計	29,090円) ✓	
合 計			29,680円	
			30,636円 ✓	

※ 市内における調査のために交通機関を利用した場合で、券売機での切符購入等で領収書が徴しがたいときは、2,000円以内の支出に限り、本計算書への記入をもって領収書の添付に代えるものとする。

山手台東五丁目/阪急バス→新大阪 2026年01月29日(木)始発

06:14発→07:13着 59分(乗車43分)



乗換: 2回

27.1km

現金優先: 720円 定期券 通勤: 1か月 27,540円 / 3か月 78,520円 / 6か月 145,860円

06:14	発	山手台東五丁目/阪急バス	
8駅		阪急バス・宝塚山手台線 8 4 (山手台東五丁目発) 阪急山本駅行	250円
06:26着 06:27発	○	阪急山本駅/阪急バス	
	・	徒歩	
06:28着 06:29発	○	山本(兵庫県)	乗車位置: [8両] 前 中
8駅		阪急宝塚本線急行 大阪梅田行 [発] 2番線 → [着] 4番線	290円
06:56着 06:58発	○	大阪梅田(阪急線)	
	・	徒歩	
07:03着 07:09発	○	大阪	
		J R 京都線新快速2号 野洲行 [発] 9番線 → [着] 4番線	180円
07:13	着	新大阪	

(例) 用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

印	印	印	印	印
---	---	---	---	---

新大阪→山手台東五丁目/阪急バス 2026年01月30日(金)20:30出発

21:09発→22:11着 1時間2分(乗車37分)



乗換: 2回

26.6km

現金優先: 720円

定期券 通勤: 1か月 27,540円 / 3か月 78,520円 / 6か月 145,860円

21:09	発	新大阪	乗車位置: [6両] 後 [8両] 後 [12両] 後
		J R 京都線新快速 姫路行 [発] 8番線 → [着] 4番線	180円
21:13着 21:15発		大阪	
		徒歩	
21:20着 21:24発		大阪梅田(阪急線)	
8駅		阪急宝塚本線急行(当駅始発) 宝塚行 [発] 4・5番線 → [着] 1番線	290円
21:50着 21:51発		山本(兵庫県)	
		徒歩	
21:52着 22:04発		阪急山本駅/阪急バス	
6駅		阪急バス・宝塚山手台線 8 4 (宝塚山手台東三丁目止) 宝塚山手台東三丁目行	250円
22:11	着	山手台東五丁目/阪急バス	

(例) 用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

印	印	印	印	印
---	---	---	---	---

東京→赤坂見附 2026年01月29日(木)20:30出発

20:32発→20:41着 9分(乗車9分)



乗換: 0回

3.7km

IC優先: 178円 定期券 通勤: 1か月 7,140円 / 3か月 20,350円 / 6か月 38,560円

20:32 発 東京

4駅



東京メトロ丸ノ内線 荻窪行 [発] 1番線 → [着] 2番線

178円

20:41 着 赤坂見附

(例) 用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

印	印	印	印	印
---	---	---	---	---

霞ヶ関(東京都)→東京 2026年01月29日(木)20:30出発

20:32発→20:36着 4分(乗車4分)



乗換: 0回

2.1km

IC優先: 178円

定期券 通勤: 1か月 6,980円 / 3か月 19,900円 / 6か月 37,700円

20:32 発 霞ヶ関(東京都)

2駅



東京メトロ丸ノ内線 池袋行 [発] 2番線 → [着] 2番線

178円

20:36 着 東京

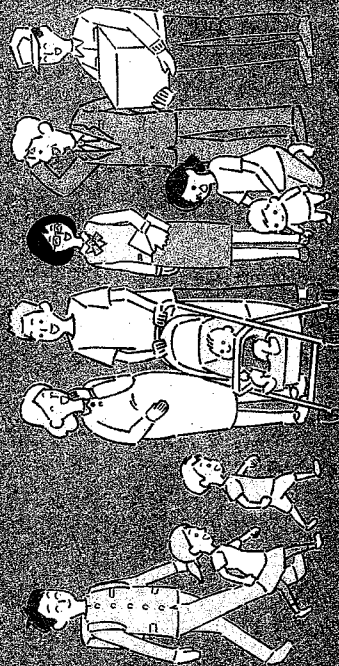
(例) 用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。



印	印	印	印	印
---	---	---	---	---

デジタル庁への地域幸福度指数^標について。デジタル庁では様々な視点から自治体の幸福度について、アンケートなどを用いその自治体ごとに関連因子を模索するきっかけ作りをしている。数字上での結果と、体感としての結果に相違があるものもあり、その相違の取り扱いも自治体それぞれだという。例えば、そのギャップを埋めていくことに力をいれていくこともできるし、数字と体感が一致して高いところをより伸ばしていくということもできる。このデータの活用について、国の予算を使いアドバイザーを自治体に派遣している事業がある。宝塚市の現在地を理解した上で様々な事業をしていく意義が出てくると感じるので、ウェルビーイングの向上にむけての準備として、データの活用を第三者からレクチャーを受けることは大変重要だと感じたので、宝塚市に対して求めている。こども家庭庁へのはじめの100か月の育ちビジョン、5歳児健診について。宝塚市でも子育ての支援の拡充を進めているところだが、国の示す根本的な意図を再度確認する必要があると感じた。国の方向性は育ちは連続したもの^にの点であり、長期的なその子どもの育ち、幸せに育っていくために、適宜適切な関与を最大限にしていこうとするものである。切れ目のない支援の本来の目的がビジョン^{シート}氏にはしっかりと示されており、解釈の段階でずれが生じないようにしっかりと考え推し進めていかななくてはならない。宝塚市におりてきた段階でそのようなずれが生じたまま事業が続けられていく、または新しく取り組んでいくことがないよう、ビジョンに則った運用がされているかを注視していく。

はじめての100か月の 育ちビジョン

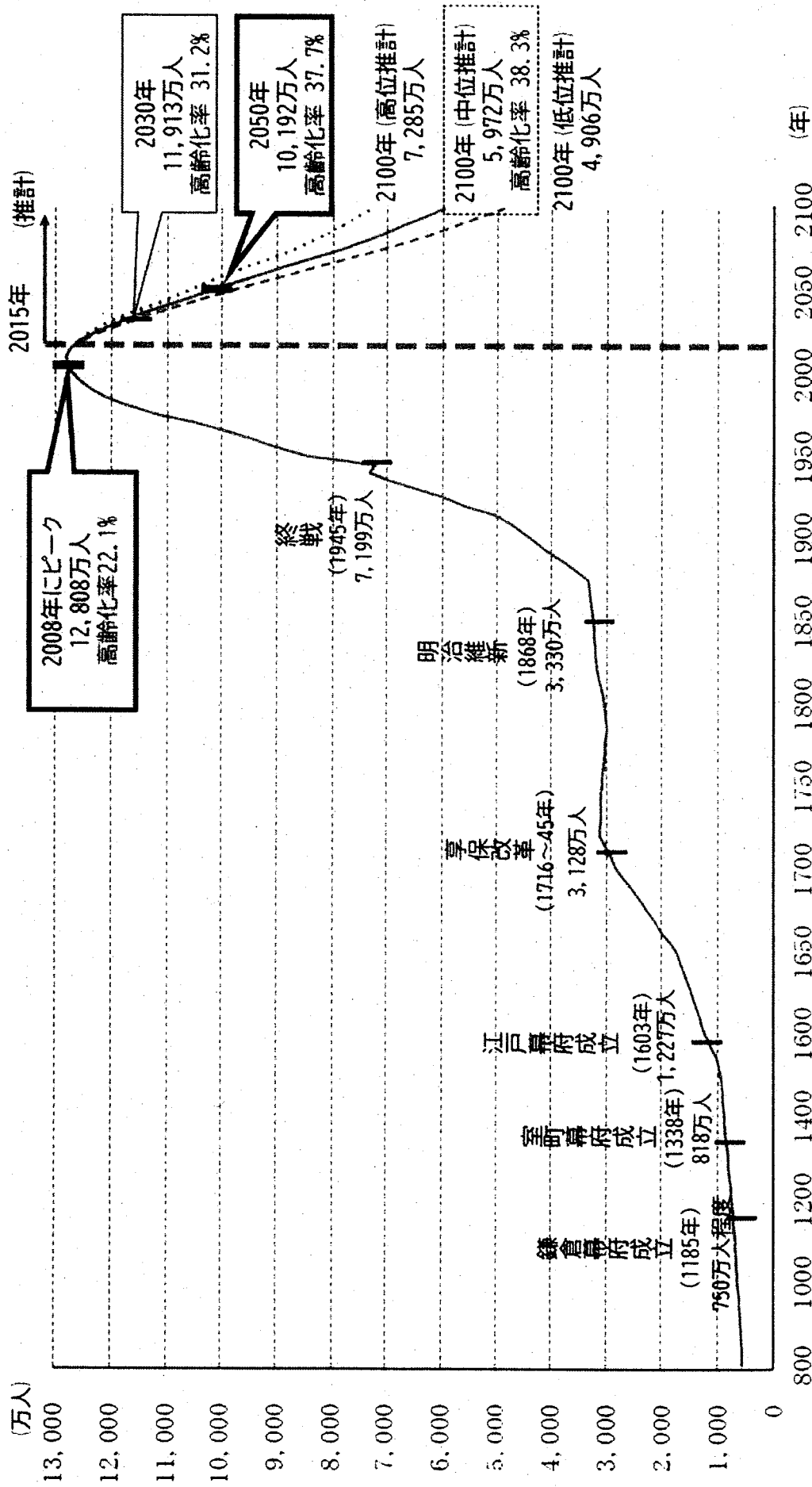


地域幸福度（Well-Being）指標について

地域版の健康診断

2026/1 デジタル庁 国民向けサービスグループ デジタル公共財担当

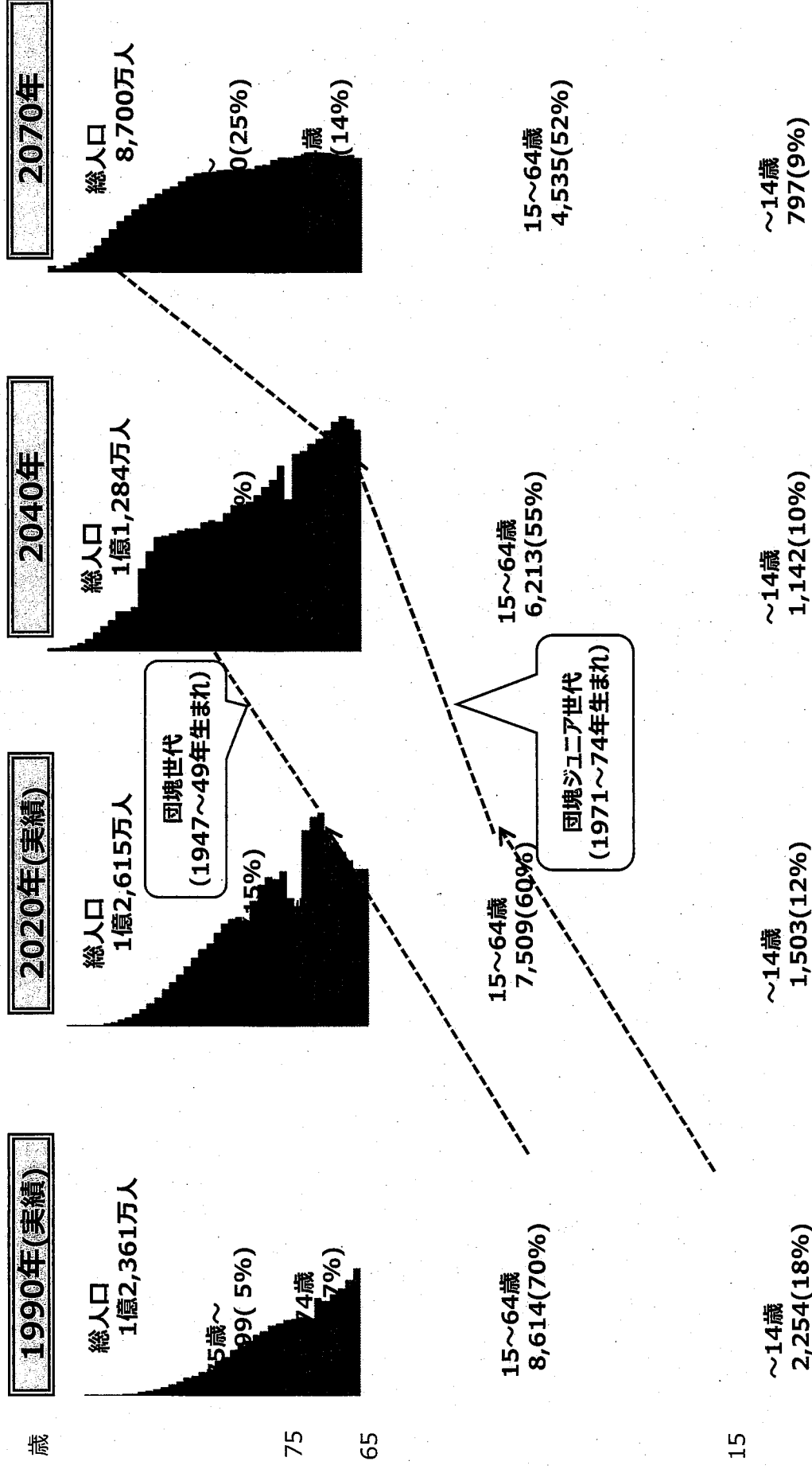
一 日本の人口減少の傾向



〔出典〕1920年までは、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」(1974年)、1920年からは総務省「国勢調査」(2008年)に係る確
認には、総務省「人口推計年報」及び「平成17年及び22年国勢調査結果による補間補正人口」を用いた。2020年からは 国立社会保険・人口問題研究所「日本
の将来推計人口(平成29年推計)」を基に作成

日本の人口ピラミッドの変化

- 団塊のジュニア世代が65歳となる2040年には、65歳以上が全人口の35%となる。
- 2070年には、人口は8,700万人にまで減少するが、一方で、65歳以上は全人口の約39%となる。



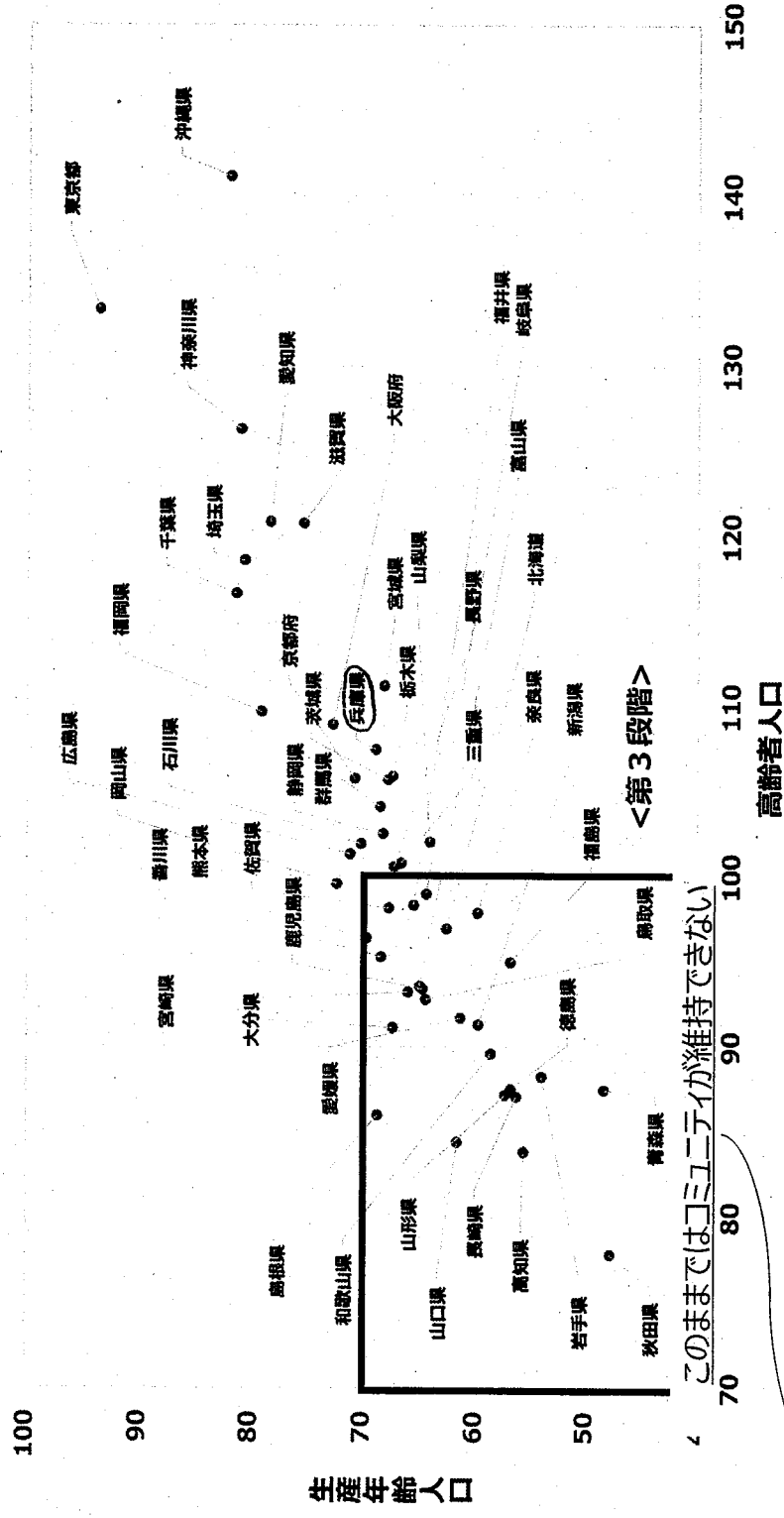
0 50 100 150 200 250 万人

(出所) 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）」（出生中位（死亡中位）推計

一 人口減少下における都市部と地方の問題の二極化

- 都道府県によって人口減少の段階は異なり、それぞれの段階において課題も異なっている。
- 第1段階にある都市部では生産年齢人口の減少が限定的である一方、高齢者人口は急増している。急増する高齢者のための公共サービスの構築が急務である。
- 第3段階にある地域では生産年齢人口・高齢者人口ともに急速に減少しており、コミュニティの継続性に懸念が生じている。

都道府県別の2050年の生産年齢人口と高齢者人口（2020年＝100）



地方創生

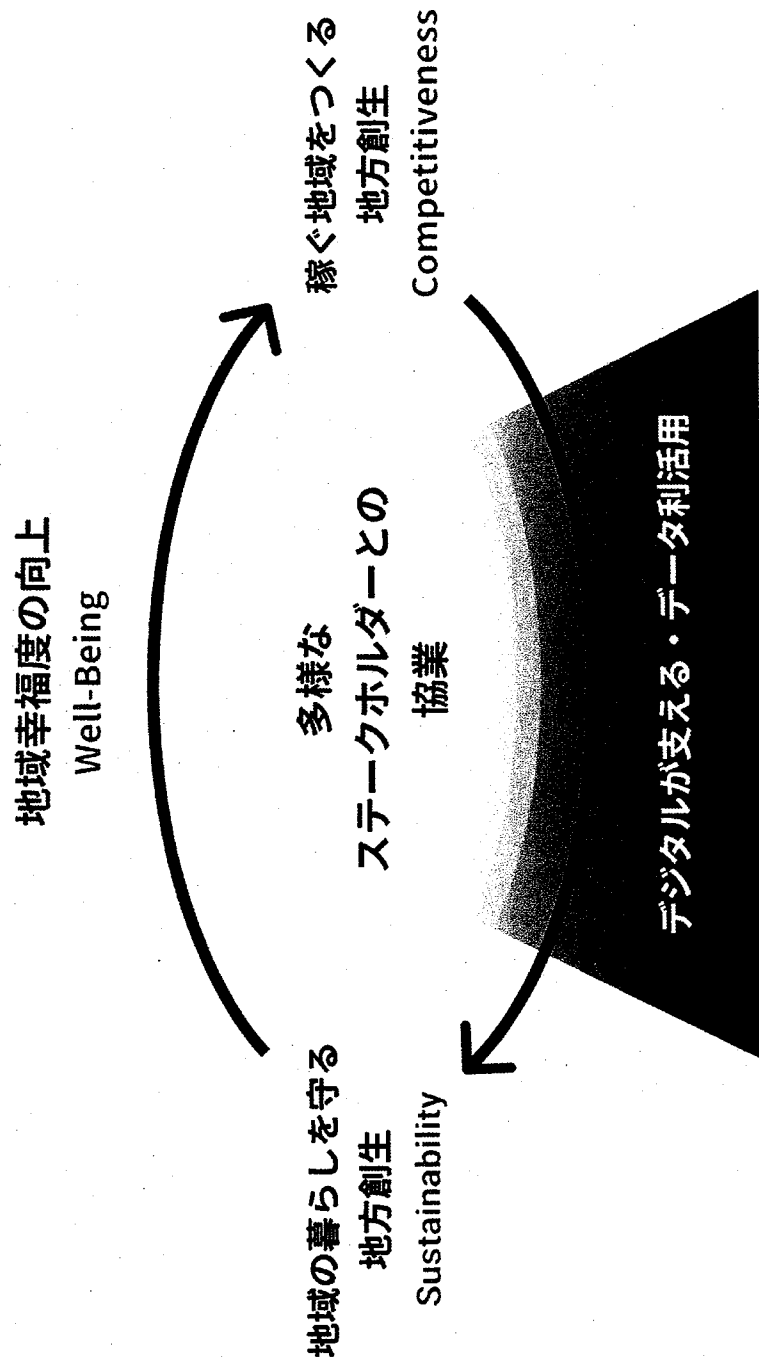
① 地域の暮らしを守る
② 地域外からの稼ぎで成長する

デジタル活用、データ活用
DX（デジタルトランスフォーメーション）

一 デジタル地方創生の概念

- これまで行われてきた地方創生の取組の多くは、個別事業単位での成功（点での成功）を求めるものが少なくなかった。地方創生2.0では「点での成功」から、「面での成功（エリア全体としての成功）」を実現する段階へ。
- デジタル地方創生においては、少子化対策により、今後の人口減少のペースが緩まるとしても、当面は人口減少が続く事態を正面から受け止め、「地域の暮らしを守る」ことと、「稼ぐ地域をつくる」ことの2つの切り口から、地域のまちづくりにおける諸取組の好循環を実現し、そこに暮らす人、関わる人の**地域幸福度（Well-Being）の向上**を図ることが重要。
- そのためには、限られたリソースをフル活用して一人一人のニーズに最適化されたサービスを提供することが必要であり、デジタル活用やデータ活用が必須となる。

【「デジタル地方創生」の概念】



ー ウェルビーイングとは

ウェルビーイング (Well-being)

=「身体的・精神的・社会的に良好な状態にあること」

- 「健康とは、病気ではないとか、弱っていないというわけではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべて満たされた状態 (Well-being) にあること」 (WHO)

健康の社会的決定要因 (Social Determinants of Health)

=「個人または集団の健康状態に違いをもたらす経済的、社会的状況のこと」

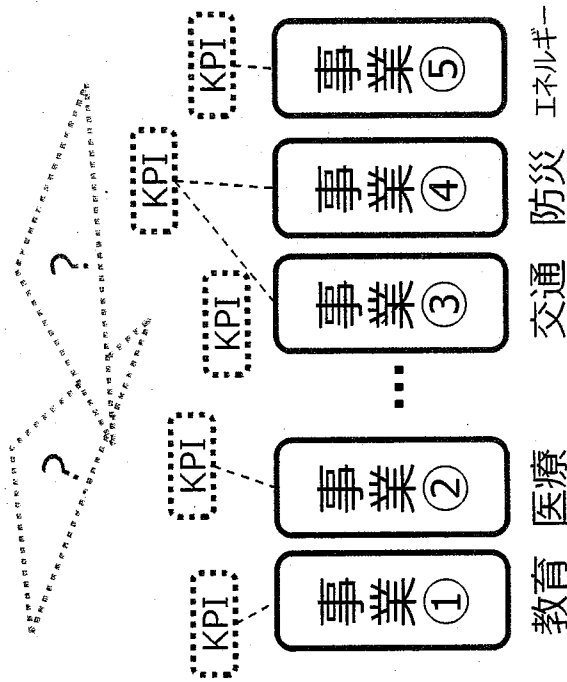
- WHOソリッドファクト (2003年) に列挙された健康の社会的決定要因：社会格差、ストレス、幼児期、社会的排除、労働、失業、社会的支援、薬物依存、食品、交通
- 社会的決定要因とは、人間の健康には人間内面 (身体・精神・社会) のみならず、外部環境も影響を与えているとする

一 地域幸福度 (Well-Being) 指標とは

- これまでのまちづくりでは地域全体の目指す価値観の明示が不十分であり、目的や取組も十分に整合されていなかった。地域全体のWell-Beingの向上に向けた共通指標を利用することで、価値観や目的をすりあわせ複数サービスの円滑な連携を図ることができる。
- 地域幸福度 (Well-Being) 指標の活用をコミュニケーションのきっかけとすることで、地域全体の目指したい姿の検討がより具体的になり、産学官、市民含め、地域の様々なプレイヤーの協力を引き出すことが可能。

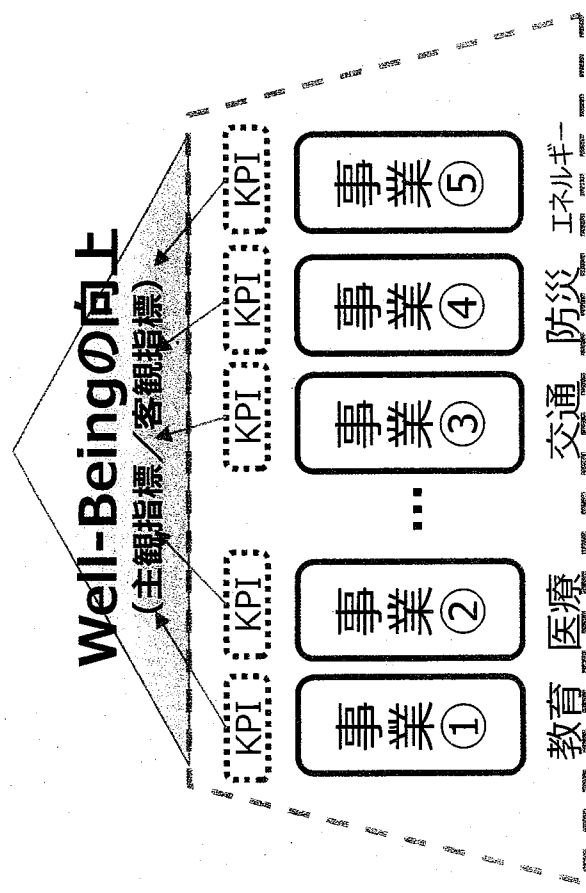
現状

- 複数事業を包括する街全体の目指す価値観の明示が不十分。各事業が目指すまちづくりの目的や取組もバラバラ。



今後

- Well-Being指標を活用することにより、地域全体の目指したい姿の検討がより具体化。



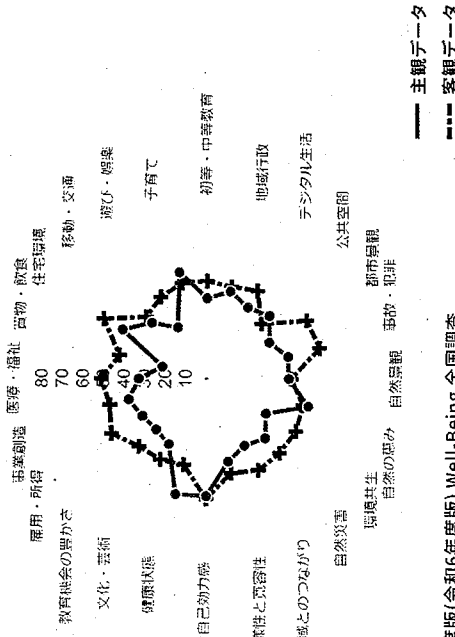
一 地域幸福度 (Well-Being) 指標とは

- Well-Being指標は、地域における幸福度・生活満足度を計る3つの因子群(“生活環境”、“地域の人間関係”、“自分らしい生き方”)から構成され、因子群を合計24のカテゴリーに細分化。
- 24のカテゴリーについて、アンケート調査結果を指標化した主観指標と、各種統計データを指標化した客観指標で計測し、それぞれ偏差値化。
- 指標の計測結果はレーダーチャートの形で表示し、それぞれの地域の特徴を視覚的に表示。
※なお、活用にあたってはランキング付けではなく、地域の特性を捉えることを目的とする。
- 2026年1月現在、約200自治体が活用。

○カテゴリー

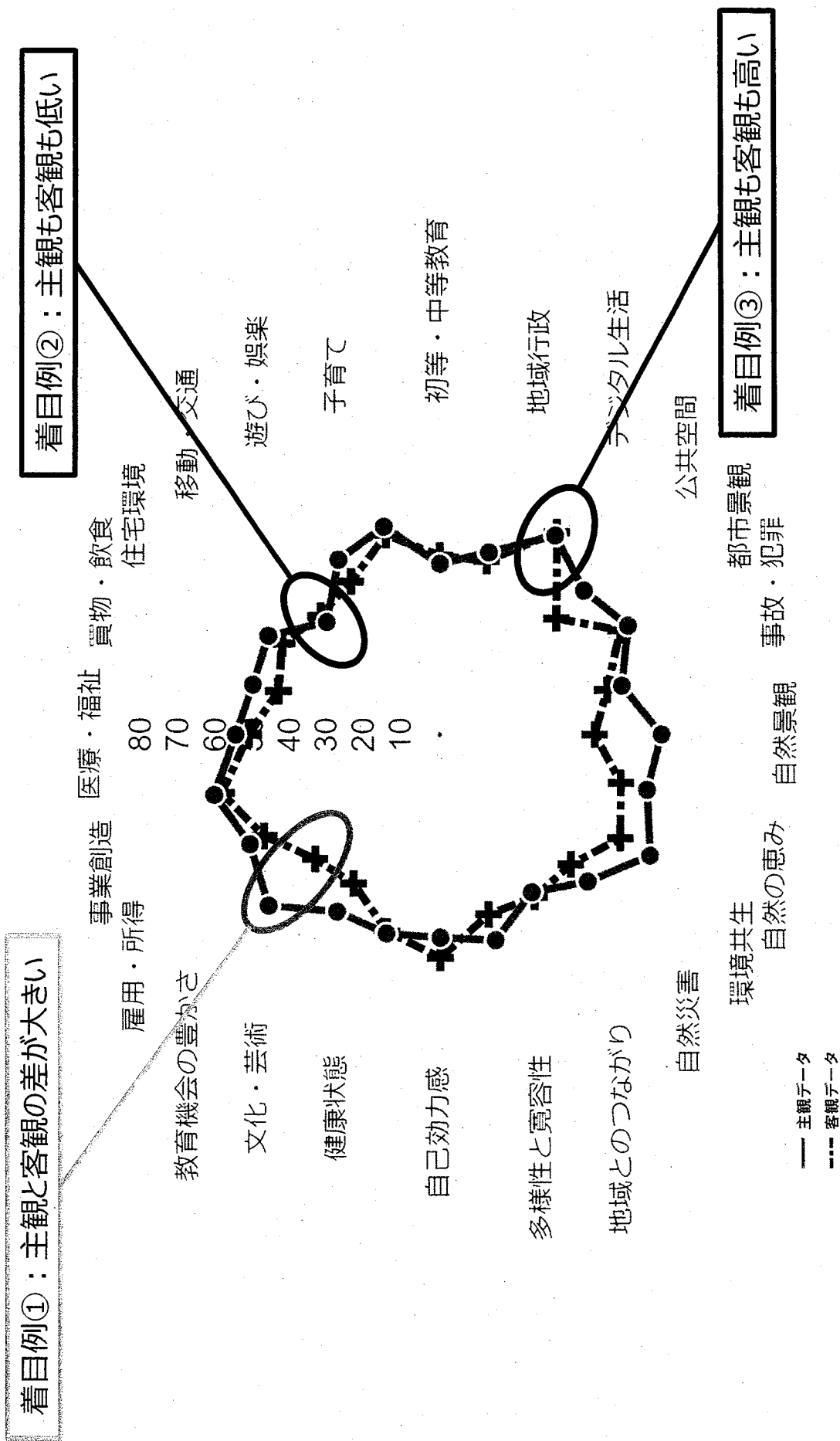
地域の人間関係 (2)	
<都市環境>	デジタル生活
	公共空間
医療・福祉	都市景観
買物・飲食	事故・犯罪
住宅環境	<自然環境>
移動・交通	
遊び・娯楽	自然景観
子育て	自然の恵み
初等・中等教育	環境共生
地域行政	自然災害

カテゴリー別



Well-Being指標の活用方法

- Well-Being指標は地域の現状（特徴）や課題を把握するためのきかけとして活用。
- レーダーチャートから着目すべき因子を特定し、因子を構成する要素（アンケートの設問や統計データ）を確認することにより分析につなげる。



主観指標（アンケート）の構成

- 24のカテゴリーについて、50問の設問で住民にアンケートを実施。
- デジタル庁で約8～10万人を対象に実施する方法（全国調査）と、自治体が個別に実施する方法（個別調査）がある。

全国調査 8～10万人

地域における幸福度・生活満足度（4）

- 現在、あなたはどの程度幸せですか？
- 現在、あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか？
- 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。
- 自分だけでなく、身近な周りの人も楽しい気持ちにいると思う

生活環境（16）

- 医療・福祉（2）
- 医療機関が充実している
- 介護・福祉施設のサービスが受けやすい

- 買物・飲食（2）
- 日常の買い物に全く不便がない
- 飲食を楽しめる場所が充実している

- 住宅環境（3）
- 自宅には、心地よい居場所がある
- 【逆】自宅の近辺では、騒音に悩まされている
- 適度な費用で住居を確保できる

- 移動・交通（1）
- 公共交通機関で好きな時に好きなところへ移動ができる

- 遊び・娯楽（1）
- 楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある

- 子育て（2）
 - 子育て支援・補助が手厚い
 - 子どもたちがいざいざと暮らせる
- 初等・中等教育（2）
 - 教育環境（小・中学校）が整っている
 - 通学しやすい場所に学校がある
- 地域行政（2）
 - 地域の行政は、地域のことを真剣に考えている
 - 公共施設は使い勝手良く便利である

- デジタル生活（2）
 - 行政サービスのデジタル化が進んでいる
 - 仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい
- 公共空間（2）
 - 地域の雰囲気は、自分にとって心地よい
 - まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある

- 都市景観（1）
- 自慢できる都市景観がある

- 事故・犯罪（2）
- 防犯対策（交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい
- 歩道や信号が整備されていて安心である

- 自然景観（1）
 - 自慢できる自然景観がある
- 自然の恵み（2）
 - 身近に自然を感じることができる
 - 暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる

- 環境共生（1）
- リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである

- 自然災害（1）
- 暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている。

- 地域とのつながり（5）
- 私は同じ町内に住む人々を信頼している
- 地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである
- 困ったときに相談できる人が身近にいる
- 町内の人が困っていたら手助けする
- このまちに愛着を持っている

- 多様性と寛容性（5）
- 町内にはどんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある
- 私は見知らぬ他者であっても信頼する
- 私は、町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる
- 女性が活躍しやすい
- 若者が活躍しやすい

- 自己効力感（1）
- 自分のことを好ましく感じる

- 健康状態（2）
- 身体的に健康な状態である
- 精神的に健康な状態である

- 文化・芸術（2）
- 文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい
- 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい

- 教育機会の豊かさ（1）
- 学びたいことを学べる機会がある

- 雇用・所得（2）
- やりたい仕事を見つけやすい
- 適切な収入を得るための機会がある

- 事業創造（1）
- 新たなことに挑戦・成長するための機会がある

客観指標（統計データ）の構成

- 客観指標は国勢調査結果などのオープンデータを基に構成。

○客観指標（市区町村版）の構成要素①

生活環境 (16)

医療・福祉	遊び・娯楽	子育て	初等・中等教育	買物・飲食	住宅環境	移動・交通
■ 医療施設徒歩圏人口カパー率 ■ 医療施設徒歩圏平均人口密度 (-) ■ 人口あたり国保医療費 (-) ■ 人口あたり後期高齢者医療費 (-) ■ 特定健康診断受診率 ■ 福祉施設徒歩圏人口カパー率 ■ 福祉施設徒歩圏平均人口密度 (-) ■ 人口あたり児童福祉施設数 ■ 人口あたり障害者施設数 ■ 人口あたり認知症サポーター・サポーター数	■ 人口あたり娯楽業（映画館、劇場、スポーツ施設等）の事業所数	■ 保育所まで1km未満の住宅割合 ■ 可住地面積あたり幼稚園数 ■ 施設あたり幼稚園児数 (-) ■ 人口あたり待機児童数 (-) ■ 歳出総額における教育費の構成比 ■ 合計特殊出生率	■ 可住地面積あたり小学校数 ■ 可住地面積あたり中学校数 ■ 可住地面積あたり高等学校数 ■ 施設あたり小学生数 (-) ■ 施設あたり中学生数 (-) ■ 施設あたり高校生数 (-)	■ 商業施設徒歩圏人口カパー率 ■ 商業施設徒歩圏平均人口密度 (-) ■ 可住地面積あたりの飲食店数 ■ 人口あたり飲食店数	■ 住宅あたり延べ面積 ■ 平均価格（住宅地） (-) ■ 専用住宅1m2あたり家賃 (-) ■ 一戸建の持ち家の割合	■ 駅またはバス停留所徒歩圏人口カパー率 ■ 駅およびバス停留所徒歩圏人口密度 (-) ■ 人口あたり小型車走行キロ (-) ■ 通勤通学に自家用車・オートバイ・タクシーを用いない割合 ■ 職場までの平均通勤時間 (-)

公共空間	都市景観	自然景観	自然・犯罪	自然の恵み
■ 公園緑地徒歩圏人口カパー率 ■ 人口あたり公園の面積 ■ 歩道設置率 ■ ウォーカブル指数	■ 都市景観指数	■ 自然景観指数	■ 人口あたり交通事故件数* (-) ■ 人口あたり刑法犯認知件数* (-) ■ 空き家率 (-)	■ 食料生産ポテンシャル ■ 水供給ポテンシャル ■ 木材供給ポテンシャル ■ 炭素吸収量 ■ 蒸発散量 ■ 地下水涵養量 ■ 土壌流出防止量 ■ 窒素除去量 ■ リン酸除去量 ■ NO2吸収量 ■ SO2吸収量 ■ 洪水調整量

自然の恵み	環境共生	自然災害
■ 表層崩壊からの安全率 ■ 緑地へのアクセス度 ■ 水域へのアクセス度 ■ オートキャンプ場への立地	■ NOx平均値 (-) ■ PM2.5年平均値 (-) ■ ゴミのリサイクル率 ■ 人口あたり年間CO2排出量 (-) ■ 人口あたり再生エネルギー ■ 環境政策指数	■ 外水氾濫危険度 ■ 高潮危険度 ■ 土砂災害危険度 ■ 地震動危険度 ■ 津波危険度 ■ ハード対策 ■ 避難・救助 ■ 要配慮者支援 ■ 防災教育 ■ 防災まちづくり ■ 情報・デジタル防災

指数を構成するKPIはP14~15を参照
* 各都道府県・市区町村HP等から取得
(-)のあるKPIは高い方が偏差値が低く算出

客観指標（統計データ）の構成

○客観指標（市区町村版）の構成要素②

地域とのつながり

- 人口あたり自殺者数 (-)
- 孤大家族世帯割合
- 既婚者の割合
- 高齢単身世帯の割合 (-)
- 居住期間が20年以上の人口の割合
- 祭り開催数
- 自治会・町内会加入率*
- 人口あたり政治団体等の数
- 人口あたり宗教の事業所数
- 人口あたりNPOの数
- 人口あたり都市再生推進法人・UDCの数
- 関係人口創出活動指数

多様性と寛容性

- 議会における女性議員の割合
- 自治体の管理職職員における女性の割合
- 自治体職員における障害者の割合
- 人口あたり外国人人口
- 多様性政策指数

自己効力感

- 首長選挙投票率
- 市区町村議会選挙の投票率

健康状態

- 健康寿命（平均自立期間）（男性）
- 健康寿命（平均自立期間）（女性）

文化・芸術

- 芸術家・著述家等の割合
- 国宝・重要文化財（建造物）の数
- 日本遺産の数

教育機会の豊かさ

- 大卒・院卒者の割合
- 可住地面積あたり大学・短期大学の数
- 可住地面積あたり国立・私立中高一貫校数
- 人口あたり生涯学習講座数
- 人口あたり生涯学習講座受講者数
- 人口あたり青少年教育施設利用者数
- 人口あたり女性教育施設利用者数

雇用・所得

- 完全失業率 (-)
- 若年層完全失業率 (-)
- 正規雇用者比率
- 高齢者有業率
- 高卒者進路未定者率 (-)
- 市区町村内で従業している者の割合
- 創業比率
- 納税者あたり課税対象所得

事業創造

- クリエイティブ産業事業所の構成比
- 新規設立法人の割合
- 従業者数あたりコワーキングスペースの数
- 大学発ベンチャー企業数

一 地域幸福度 (Well-Being) 指標の活用促進に関する検討会

■ 会議録

地域幸福度 (Well-Being) 指標の活用促進に関する検討会

<https://www.digital.go.jp/councils/digital-garden-city-nation-wellbeing/>

■ 構成員等 (敬称略 太字・下線は座長)

前野 隆司 武蔵野大学 ウェルビーイング学部 学部長、慶應義塾大学 名誉教授

石川 善樹 公益財団法人Well-being for Planet Earth 代表理事

井上 亮太郎 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 特任講師、パースル総合研究所シンクタンク本部 上席主任研究員

内田 由紀子 京都大学人と社会の未来研究院 院長・教授

太田 直樹 株式会社New Stories 代表取締役

小泉 秀樹 東京大学まちづくり研究室 教授

古賀 千絵 京都大学人と社会の未来研究院 特定講師

白坂 成功 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科委員長／教授

鈴木 寛 東京大学公共政策大学院 教授

関 治之 一般社団法人コード・フォー・ジャパン 代表理事

中室 牧子 慶應義塾大学総合政策学部 教授

南雲 岳彦 一般社団法人スマートシティ・インスティテュート代表理事

細野 美奈子 国立研究開発法人 産業技術総合研究所ウェルビーイング実装研究センター・ヒューマンステートデザイン研究チーム 主任研究員

吉村 有司 東京大学 先端科学技術研究センター 特任准教授

【オブザーバー】

内閣官房 新しい地方経済・生活環境創生本部事務局

内閣府 政策統括官 (経済社会システム担当)

内閣府 民間資金等活用事業推進室

内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局

文部科学省 大臣官房政策課

厚生労働省 政策統括官 (総合政策担当)

農林水産省 大臣官房環境バイオマス政策課

農林水産省 農村振興局農村政策部農村計画課

国土交通省 都市局まちづくり推進課

環境省 大臣官房総合政策課

こども家庭庁 長官官房参事官 (総合政策担当)

Well-Being指標サイト

個別調査

○ダッシュボード

自治体・調査種別・調査年度を同一画面で切替可能

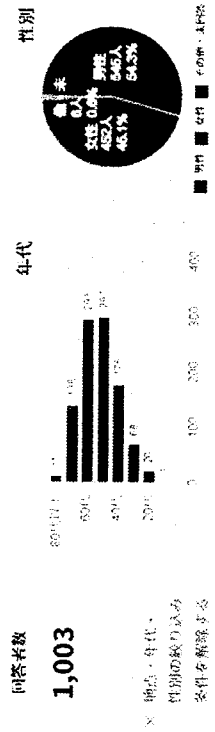
表示中のデータ選択条件

都道府県を選択 市区町村を選択 調査種別を選択 年度を選択

北海道 札幌市全域 全国調査 2024年度版 (令和6年度版)

選択中の地域のアンケート回答者情報

地図を表示・地点を絞り込む 年代を絞り込む 性別を絞り込む



地点、年代、性別を絞り込むと、それぞれ回答者数・年代・性別のチャート、また下部に表示中のWell Being指標のチャートに反映されます。

※ 比較表示時は画面に表示されているグラフの回答者数が合算値で表示されます。

○相関係数

カテゴリー別 (いづれか一方)

主観データ (アンケート)

客観データ (行政データ)

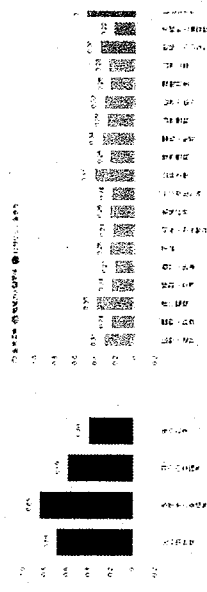
主観・客観両方

相関係数

主観・客観両方

全自治体と他の地名情報との相関係数

全自治体と国子との相関係数



○散布図

カテゴリー別 (いづれか一方)

主観データ (アンケート)

客観データ (行政データ)

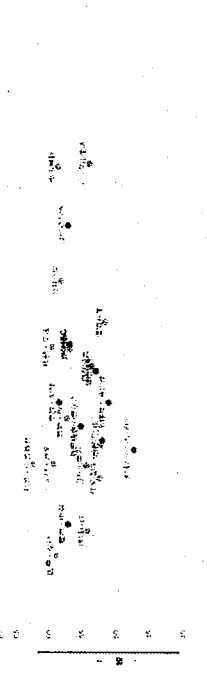
主観・客観両方

相関係数

主観・客観両方

全自治体と他の地名情報との相関係数

全自治体と国子との相関係数



カテゴリー別 (いづれか一方)

主観データ (アンケート)

客観データ (行政データ)

主観・客観両方

相関係数

主観・客観両方

スマートフォンでも閲覧可能

スマートフォンでも閲覧可能

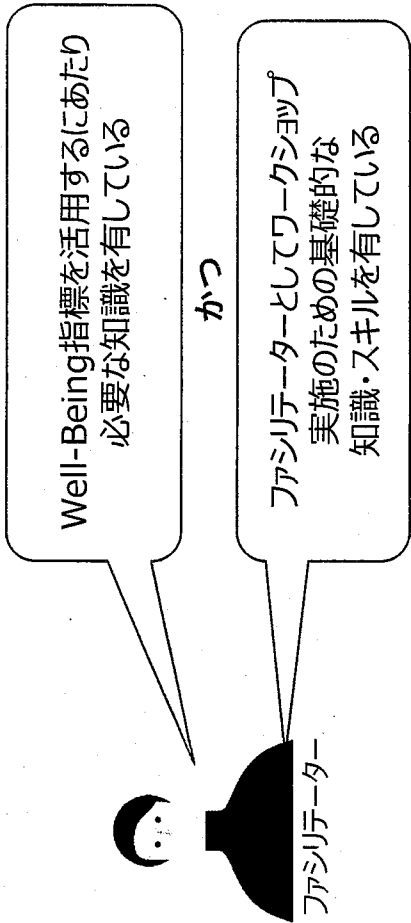
- Well-Being指標の活用促進のため、デジタル庁では指標の知識・スキルを有したファシリテーターを養成（令和7年12月現在約200名）。
- 自治体の求めに応じ、養成したファシリテーターを紹介・派遣し、Well-Being指標を活用したワークショップを開催。

R7、30自治体
4月

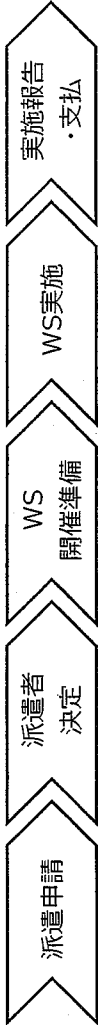
【Well-Being指標活用ファシリテーター】

【提供する「標準ワークショップ」概要】

項目	内容
参加対象者	①自治体職員、②地域の関係者（地元事業者・商工会・NPO・大学等）③地域の住民・学生※②③の実施は、①を実施済であること
定員	● 原則、30名程度 ● グループワークは、1グループ4～5名を推奨
実施目的	● ウェルビーイングの定義、重要性等について理解を深める ● 指標の構成・概要を理解し、指標サイトの使い方を習得する ● 指標をもとにして、対象自治体の現状について理解を深める ● 指標を活用した政策デザイン手法を体験する
プログラム (標準時間)	● 午前（2時間） ウェルビーイングに関する講義、指標ダッシュボードの操作演習 ● 午後（3時間） 指標を活用した政策デザインに関するグループワーク・チーム発表・講評



【派遣の流れ】

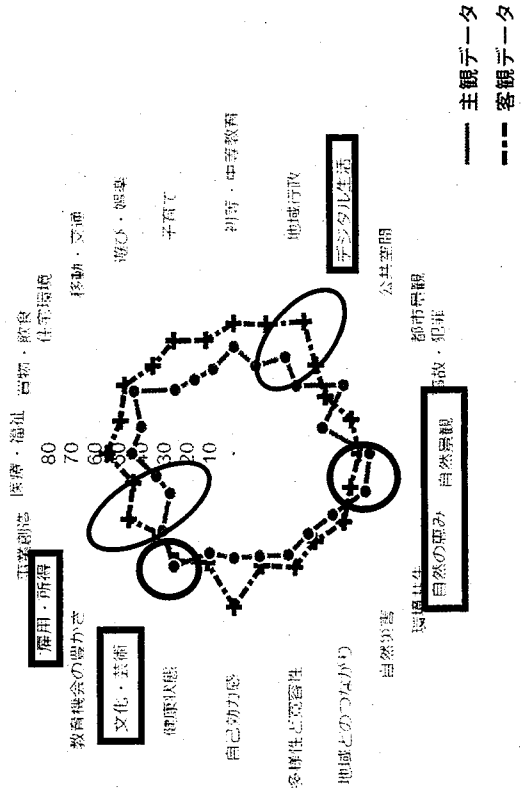


ロジックツリーの活用

- Well-Being指標で特定した地域の課題に応える施策探しを行うために、ロジックツリーを活用した取組を推進。
- 具体的には、Well-Being指標分析の結果抽出された課題分野と、各分野の施策・取組の相関関係を、政策効果の観点からロジックツリーに落とし込み。また、そのための「リアレンスロジックツリー」を策定・公表。

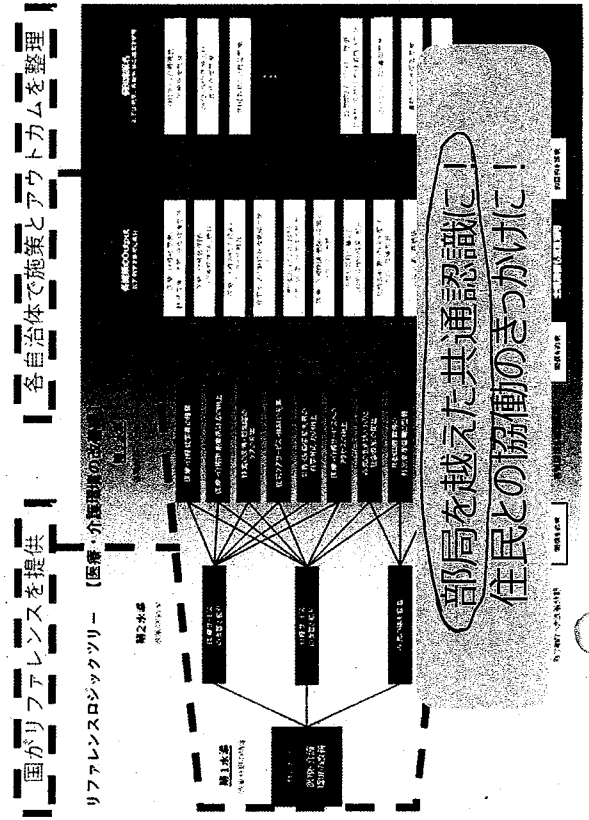
「Well-Being指標の分析を通じた重要となる課題分野の特定」

- 主観指標・客観指標が共に高い（または低い）分野や、主観指標と客観指標の差が大きな分野などに着目し、地域の特徴や課題を分析
- 指標のさらなる活用・分析に向けて、ファシリテーターを派遣し、ワークショップ等も実施



「ロジックツリーを通じた、重要となる施策及び関連施策の特定」

- 指標分析を経て浮き彫りとなった課題に対し、関連する施策群を俯瞰し、重視すべき施策と相互に影響を及ぼす施策を検証
- デジタル基盤の共用等を通じたDX事業の推進に向けた、部局横断的な協働と住民の参画を促進



兵庫県宝塚市のダッシュボード

地域未来交付金

都道府県を選択

兵庫県

市区町村を選択

宝塚市

調査種別を選択

全国調査

年度を選択

2025年度版(令和7年度版)

選択中の地域のアンケート回答者情報

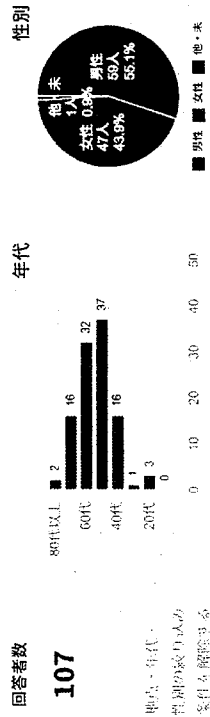
地図表示で地域を絞り込む

年代絞り込み中

性別を絞り込む

ダッシュボード切り替え

ダッシュボードメニュー



地点、年代、性別を絞り込むと、それぞれ回答者数・年代・性別のチャート、また下部に表示中のWell-Being指標のチャートに反映されます。

※ 比較表示時は画面に表示されているグラフの回答者数が合算値で表示されます。

主観も客観も高い : 健康状態

主観も客観も低い : 遊び・娯楽

主観が高く客観が低い : 文化・芸術

主観が低く客観が高い : 多様性と寛容性

カテゴリ別 (ローテーションチャート)

主観データ (アンケート)

客観データ (オープンデータ)

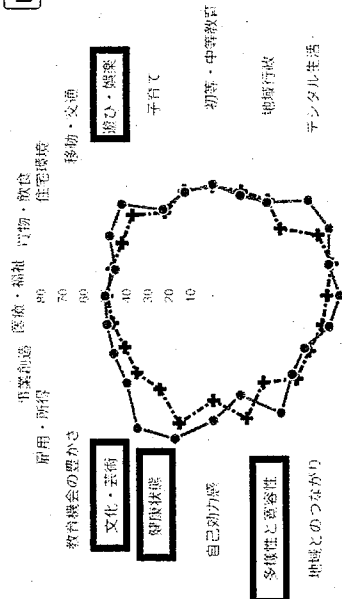
幸福度・生活満足度

相関係数

主観・客観散布図

カテゴリ別

カテゴリ別



因子	主観	客観
医療・福祉	50.5	49.5
食料・飲食	47.3	48.8
住宅環境	55.8	49.1
移動・交通	60.3	53.3
遊び・娯楽	46.5	44.7
子育て	50.0	50.6
初等・中等教育	51.8	50.9
地域行政	48.4	50.4
デジタル生活	50.2	51.3
公共空間	62.8	44.2
都市景観	62.4	56.5
事故・犯罪	55.7	57.1
自然景観	58.9	52.9
自然の恵み	55.8	52.6
環境共生	48.9	51.5
自然災害	51.7	54.6

自然災害	51.7	54.6
地域とのつながり	62.9	46.5
多様性と寛容性	47.8	58.9
自己効力感	57.9	48.6
健康状態	68.7	61.2
文化・芸術	70.9	50.0
教育機会の豊かさ	57.2	50.6
雇用・所得	53.7	47.8
事業創造	51.4	48.7

—— 主観データ

--- 客観データ

主観指標（アンケート）の構成

- 主観も客観も高い : 健康状態
- 主観も客観も低い : 遊び・娯楽
- 主観が高く客観が低い : 文化・芸術
- 主観が低く客観が高い : 多様性と寛容性

- 現在、あなたはどの程度幸せですか？
- 現在、あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか？
- 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。
- 自分だけでなく、身近な周りの人も楽しい気持ちを持っていると思う

地域における幸福度・生活満足度 (4)

生活環境 (16)

- 医療・福祉 (2)
- 医療機関が充実している
 - 介護・福祉施設のサービスが受けやすい

- 買物・飲食 (2)
- 日常の買い物に全く不便がない
 - 飲食を楽しむ場所が充実している

- 住宅環境 (3)
- 自宅には、心地よい居場所がある
 - [逆]自宅の周辺では、騒音に悩まされている
 - 適度な費用で住居を確保できる

- 移動・交通 (1)
- 公共交通機関で好きな時に好きなところへ移動ができる

- 遊び・娯楽 (1)
- 楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある

- 子育て (2)
- 子育て支援・補助が手厚い
 - 子どもたちがいきいきと暮らせる

- 初等・中等教育 (2)
- 教育環境（小中学校）が整っている
 - 通学しやすい場所に学校がある

- 地域行政 (2)
- 地域の行政は、地域のことを真剣に考えている
 - 公共施設は使い勝手良く便利である

- デジタル生活 (2)
- 行政サービスのデジタル化が進んでいる
 - 仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい

- 公共空間 (2)
- 地域の雰囲気は、自分にとって心地よい
 - まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある

- 都市景観 (1)
- 自慢できる都市景観がある

- 事故・犯罪 (2)
- 防犯対策（交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい
 - 歩道や信号が整備されていて安心である

- 自然景観 (1)
- 自慢できる自然景観がある

- 自然の恵み (2)
- 身近に自然を感じることができる
 - 暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる

- 環境共生 (1)
- リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである

- 自然災害 (1)
- 暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている。

地域とのつながり (5)

- 私は同じ町内に住む人々たちを信頼している
- 地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである
- 困ったときに相談できる人が身近にいる
- 町内の人が困っていたら手助けする
- このまちに愛着を持っている

多様性と寛容性 (5)

- 町内にはどんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある
- 私は見知らぬ他者であっても信頼する
- 私は、町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる
- 女性が活躍しやすい
- 若者が活躍しやすい

自己効力感 (1)

- 自分のごとを好ましく感じる

健康状態 (2)

- 身体的に健康な状態である
- 精神的に健康な状態である

文化・芸術 (2)

- 文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい
- 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい

教育機会の豊かさ (1)

- 学びたいことを学べる機会がある

雇用・所得 (2)

- やりたい仕事を肩つけやすい
- 適切な収入を得るための機会がある

事業創造 (1)

- 新たなことに挑戦・成長するための機会がある

客観指標（統計データ）の構成

主観も客観も高い : 健康状態
 主観も客観も低い : 遊び・娯楽
 主観が高く客観が低い : 文化・芸術
 主観が低く客観が高い : 多様性と寛容性

生活環境 (16)

医療・福祉 ■ 医療施設徒歩圏人口カバー率 ■ 医療施設徒歩圏平均人口密度 (-) ■ 人口あたり国保医療費 (-) ■ 人口あたり後期高齢者医療費 (-) ■ 特定健康診断受診率 ■ 福祉施設徒歩圏人口カバー率 ■ 福祉施設徒歩圏平均人口密度 (-) ■ 人口あたり児童福祉施設数 ■ 人口あたり障害者施設数 ■ 人口あたり認知症サポーター・メモ・サポーター数	遊び・娯楽 ■ 人口あたり娯楽（映画館、劇場、スポーツ施設等）の事業所数	公共空間 ■ 公園緑地徒歩圏人口カバー率 ■ 人口あたり公園の面積 ■ 歩道設置率 ■ ウォーカブル指数	自然の恵み ■ 表層崩壊からの安全率 ■ 緑地へのアクセス度 ■ 水域へのアクセス度 ■ オートキャンプ場への立地
買物・飲食 ■ 商業施設徒歩圏人口カバー率 ■ 商業施設徒歩圏平均人口密度 (-) ■ 可住地面積あたりの飲食店数 ■ 人口あたり飲食店数	子育て ■ 保育所まで1km未満の住宅割合 ■ 可住地面積あたり幼稚園数 ■ 施設あたり幼稚園児数 (-) ■ 人口あたり待機児童数 (-) ■ 歳出総額における教育費の構成比 ■ 合計特殊出生率	都市景観 ■ 都市景観指数	環境共生 ■ NOx平均値 (-) ■ PM2.5年平均値 (-) ■ コミのリサイクル率 ■ 人口あたり年間CO2排出量 (-) ■ 人口あたり再生エネ発電量 ■ 環境政策指数
住宅環境 ■ 住宅あたり延べ面積 ■ 平均価格（住宅地） (-) ■ 専用住宅1m2あたり家賃 (-) ■ 一戸建の持ち家割合	初等・中等教育 ■ 可住地面積あたり小学校数 ■ 可住地面積あたり中学校数 ■ 可住地面積あたり高等学校数 ■ 施設あたり小学生数 (-) ■ 施設あたり中学生数 (-) ■ 施設あたり高校生数 (-)	自然の恵み ■ 食料生産ポテンシャル ■ 水供給ポテンシャル ■ 木材供給ポテンシャル ■ 炭素吸収量 ■ 窒素散量 ■ 地下水涵養量 ■ 土壌流出防止量 ■ 窒素除去量 ■ リン酸除去量 ■ NO2吸収量 ■ SO2吸収量 ■ 洪水調整量	自然災害 ■ 外水氾濫危険度 ■ 高潮危険度 ■ 土砂災害危険度 ■ 地震動危険度 ■ 津波危険度 ■ ハード対策 ■ 避難・救助 ■ 要配慮者支援 ■ 防災教育 ■ 防災まちづくり ■ 情報・デジタル防災
移動・交通 ■ 駅またはバス停留所徒歩圏人口カバー率 ■ 駅およびバス停留所徒歩圏人口密度 (-) ■ 人口あたり小型車走行キロ (-) ■ 通勤通学に自家用車・オートバイ・タクシーを用いない割合 ■ 職場までの平均通勤時間 (-)	地域行政 ■ 人口あたり体育施設利用者数 ■ 人口あたり図書館帯出者数 ■ 人口あたり博物館入館者数 ■ 地域財政指数	デジタル生活 ■ 自治体DX指数 ■ デジタル政策指数 ■ デジタル生活指数	自然災害 ■ 人口あたり交通事故件数* (-) ■ 人口あたり刑法犯認知件数* (-) ■ 空家率 (-)

指数を構成するKPIはP14~15を参照
 * 各都道府県・市区町村HP等から取得
 (-)のあるKPIは高い方が偏差値が低く算出

客観指標（統計データ）の構成

主観も客観も高い : 健康状態
 主観も客観も低い : 遊び・娯楽
 主観が高く客観が低い : 文化・芸術
 主観が低く客観が高い : 多様性と寛容性

地域と向き合い

地域とのつながり

- 人口あたり自殺者数 (-)
- 孤大家族世帯割合
- 既婚者の割合
- 高齢単身世帯の割合 (-)
- 居住期間が20年以上の人口の割合
- 祭り開催数
- 自治会・町内会加入率*
- 人口あたり政治団体等の数
- 人口あたり宗教の事業所数
- 人口あたりNPOの数
- 人口あたり都市再生推進法人・UDCの数
- 関係人口創出活動指数

多様性と寛容性

- 議会における女性議員の割合
- 自治体の管理職職員における女性の割合
- 自治体職員における障害者の割合
- 人口あたり外国人人口
- 多様性政策指数

自己効力感

- 首長選挙投票率
- 市区町村議会選挙の投票率

健康状態

- 健康寿命 (平均自立期間) (男性)
- 健康寿命 (平均自立期間) (女性)

文化・芸術

- 芸術家・著述家等の割合
- 国宝・重要文化財 (建造物) の数
- 日本遺産の数

教育機会の豊かさ

- 大卒・院卒者の割合
- 可住地面積あたり大学・短期大学の数
- 可住地面積あたり国立・私立中高一貫校数
- 人口あたり生涯学習講座数
- 人口あたり生涯学習講座受講者数
- 人口あたり青少年教育施設利用者数
- 人口あたり女性教育施設利用者数

雇用・所得

- 完全失業率 (-)
- 若年層完全失業率 (-)
- 正規雇用者比率
- 高齢者有業率
- 高卒者進路未定者率 (-)
- 市区町村内で就業している者の割合
- 創業比率
- 納税者あたり課税対象所得

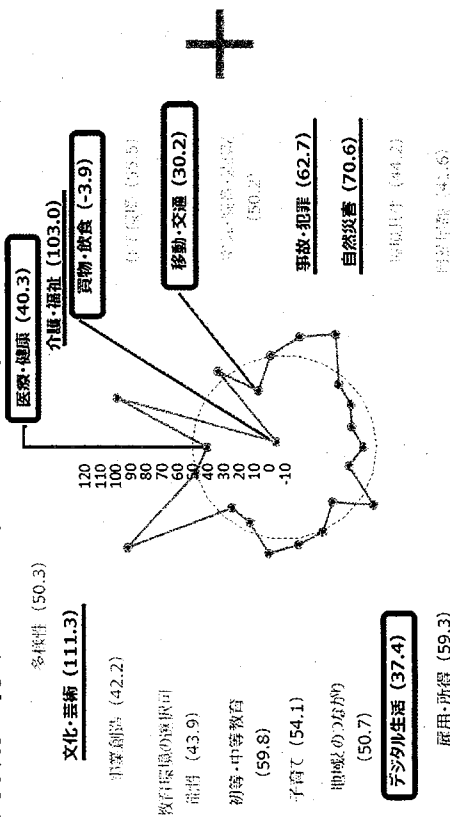
事業創造

- クリエイティブ産業事業所の構成比
- 新規設立法人の割合
- 従業員数あたりワーキングスペースの数
- 大学発ベンチャー企業数

Well-Being指標の活用事例（岡山県吉備中央町）

- 地域課題として、客観指標の数値の低い分野「医療・健康」、「買物・飲食」、「移動・交通」等を特定。
- 主観指標アンケート調査でも客観指標と同様に「医療」、「買物」等への満足度が低いことから、医療DX事業に関するアンケート結果分析や、住民ヒアリングを実施。
- これらの結果を踏まえ、「遠隔診療」や「買物・地域ポイント」を新規に実施することを決定。

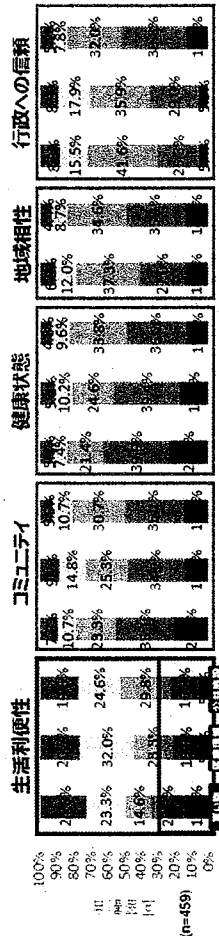
客観指標グラフから地域の課題を抽出



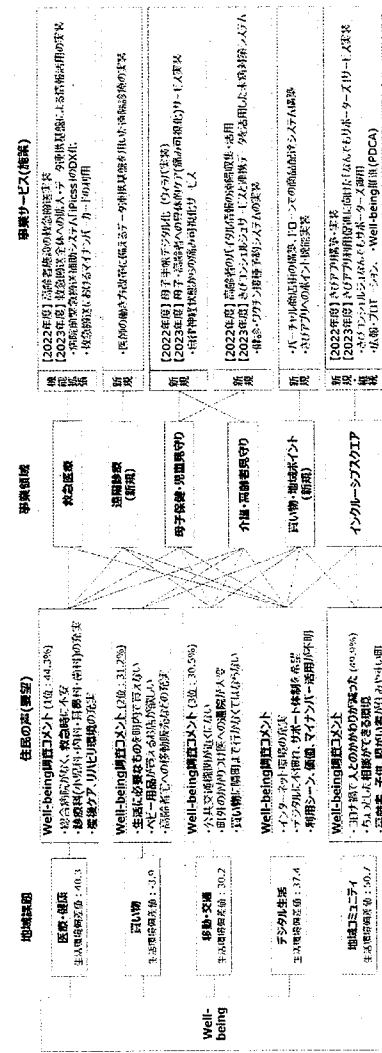
アンケートを実施し結果を深掘り

Well-being調査結果：地域生活のWell-being

客観指標の結果と同様に、生活利便性(買い物、医療機関、公共施設)への満足度が低い



次年度事業の施策を検討・決定



出所：第2回地域幸福度 (Well-being) 指標有識者検討会資料

幼児期までの子どもの育ちに係る基本ビジョン (はじめの100か月の育ちビジョン) 概要

令和5年12月22日 閣議決定

はじめの100か月の育ちビジョンを策定し全ての人と共有する意義

幼児期までこそ、生涯にわたるウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に
幸せな状態）の向上にとって最重要

✓誰一人取り残さないという育ちの保障に向けては課題あり

※児童虐待による死亡事例の約半数が0～2歳/就園していない子どもは、家庭環境により、他の子どもや大人、社会や自然等に触れる機会が左右される

✓誕生・就園・就学・就学後の前後や、家庭・園・関係機関・地域等の環境間に切れ目が多い

⇒社会全体の認識共有×関連施策の強力な推進のための羅針盤が必要

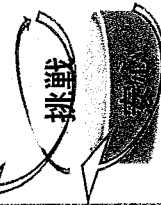
目的 全てのこの子どもの誕生前から幼児期までの
「はじめの100か月」から生涯にわたるウェルビーイングの向上

子ども基本法の理念にのっとり整理した5つのビジョン

1 こどもの権利と尊厳を守る

⇒子ども基本法にのっとり育ちの質を保障

- ✓乳幼児は生まれながらにして権利の主体
- ✓生命や生活を保障すること
- ✓乳幼児の思いや願いの尊重



「アタッチメント（愛着）」＜安心＞
不安な時などに身近なおとなが寄り添うことや、
安心感をもたらず経験の繰り返しにより、安心の
土台を獲得

豊かな「遊びと体験」＜挑戦＞
多様なこどもやおとな、モノ・自然・絵本・場所など身近
なものとの出会い・関わりにより、興味・関心に合わせた
「遊びと体験」を保障することで、挑戦を応援

3 「こどもの誕生前」から 切れ目なく育ちを支える

⇒育ちに必要ない環境を切れ目なく構築し、
次代を支える循環を創出

- ✓誕生の準備期から支える
- ✓幼児期と学童期以降の接続
- ✓学童期から乳幼児と関わる機会

4 保護者・養育者のウェルビーイング と成長の支援・応援をする

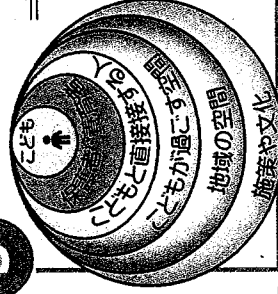
⇒こどもに最も近い存在をきめ細かに支援

- ✓支援・応援を受けることを当たり前に
- ✓全ての保護者・養育者となつながら
- ✓性別にかかわらず保護者・養育者が
共育ち

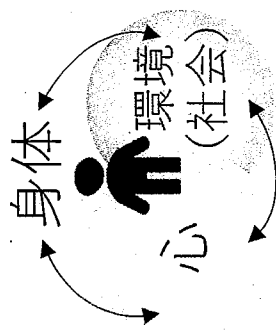
5 こどもの育ちを支える環境や社会の厚みを増す

⇒社会の情勢変化を踏まえ、こどもの
育ちを支える工夫が必要

- ✓「こどもなんかチャート」の視点
(様々な立場の人がこどもの育ちを応援)
- ✓こどもも含め環境や社会をつくる
- ✓地域における専門職連携やコーディネーター
の役割も重要



全てのこどもの生涯にわたる
身体的・精神的・社会的（バイオサイコソーシャル）
な観点での包括的な幸福



⇒全ての人のウェルビーイング向上にもつながる

【「はじめの100か月」とは】

本ビジョンを全ての人と共有するためのキーワードとして、母親の
妊娠期から幼児小接続の重要な時期（いわゆる5歳児～小1）まで
がおおむね94～106か月であり、これらの重要な時期に着目

はじめの100か月の育ちビジョンに基づく施策の推進

- ✓ こども大綱の下に策定する「こどもなんか実行計画」の施策へ反映
- ✓ 全ての人の具体的な行動を促進するための取組を含め、こども家庭庁が
司令塔となり、具体策を一体的・総合的に推進

令和7年度予算 36百万円 + 令和6年度補正予算額 1.4億円 (36百万円)

事業の目的

令和5年12月、全てのこどもの誕生前から幼児期までの「はじめの100か月」(妊娠期から小1まで)から生涯にわたるウェルビーイング(身体的・精神的・社会的に幸せな状態)の向上に向けて、「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン(はじめの100か月の育ちビジョン)」が閣議決定された。本ビジョンを社会全体の全ての人に共有し、本ビジョンを踏まえた取組を推進するため、「1.『はじめの100か月の育ちビジョン』の普及啓発」「2.『はじめの100か月の育ちビジョン』地域コーディネーターの養成」「3.『はじめの100か月』の育ちの科学的知見に関する調査研究」を3年間で集中的に実施。

これらの実施と相互の有機的な連携により、「はじめの100か月の育ちビジョン」を非常に大切だと思ふ人の割合を80%に増加させることを目指し(令和5年度現在:約46%)、全てのこどもの「はじめの100か月」の育ちを社会全体で支援・応援することで、本ビジョンの実現を図る。

事業の概要

1. 「はじめの100か月の育ちビジョン」の普及啓発

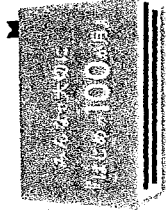
① 「はじめの100か月の育ちビジョン」の効果的な広報【令和7年度当初予算】

本ビジョンの社会的な認知度の向上とビジョンを踏まえた行動の促進を図るため、「はじめの100か月」をテーマとしたイベントの開催や外部メディアとのタイアップなど、様々な効果的な広報を実施。

② 「はじめの100か月の育ちビジョン」の普及啓発コンテンツ作成【令和6年度補正予算】

✓こども・若者(小中高生や大学生)向けに、乳幼児の育ちや子育てに関心を持ってもらえるようなパンフレット・動画等を作成。

✓企業向けに、乳幼児の育ちや子育てへの支援・応援を促すパンフレット・動画等を作成。



2. 「はじめの100か月の育ちビジョン」地域コーディネーターの養成【令和6年度補正予算】

本ビジョンを踏まえて、「はじめの100か月」の育ちを支える環境や社会の厚みを増すことを目指し、乳幼児やその保護者・養育者と地域の人々をつなぐ活動を行う地域コーディネーターを全国的に養成するため、各地域におけるモデル事例を創出。自治体 R7.10.31

令和6年度までのモデル事例を踏まえ、自治体等においてコーディネーター研修をさらに充実させた形で実施するとともに、モデル事例の全国展開に向けた地方主査らバンの開催や事例集の周知などに取り組みすることで、より多種多様な地域の実情に応じた実践事例の蓄積と横展開を図る。

3. 「はじめの100か月」の育ちの科学的知見に関する調査研究【令和6年度補正予算】

「はじめの100か月」のこどもの育ちに関する科学的知見の充実・普及に向けて、「こどもの誕生前から幼児期までの切れ目ない育ちの保障」や「乳幼児の保護者・養育者への支援・応援」、「地域社会と乳幼児の関わり」等に関する調査研究を行う。H-P 7ヶ月4ヶ月

実施主体等

- 【実施主体】民間企業・団体等 トマツ
- 【委託先】1. 民間企業等 2. 統括事業者+自治体・民間団体等10か所程度(475万円/1件) 3. 学術機関・民間企業等

「1 か月児」及び「5 歳児」健康診査支援事業

成育局 母子保健課

令和 7 年度補正予算 28 億円（令和 5 年度補正創設）

事業の目的

- 乳幼児健康診査については、母子保健法により、市町村において「1 歳 6 か月児」及び「3 歳児」に対する健康診査の実施が義務付けられている。また、乳児期（「3 か月児」及び「9 か月児」）の健康診査についても全国的に実施されている状況となっている。こうした中で、新たに「1 か月児」及び「5 歳児」に対する健康診査の費用を助成することにより、出産後から就学前までの切れ目のない健康診査の実施体制を整備することを目的とする。
- ※ 本事業による財政支援に加え、必要な技術的支援や体制整備に係る財政支援を行うことにより、「1 か月児」及び「5 歳児」の健康診査の早期の全国展開を目指す。

事業の概要

◆ 対象者

- ① 1 か月頃の乳児 及び ② 5 歳頃の幼児

◆ 内 容

地域における全ての上記①及び②に該当する乳幼児を対象に、健康診査の実施に係る費用について助成を行う。

① 1 か月児健診

実施方法：原則として個別健診

健診内容：身体発育状況や栄養状態などの評価、身体疾患のスクリーニング、こどもの健康状態や育児の相談等

② 5 歳児健診

実施方法：原則として集団健診

健診内容：発達の状況（身体、精神、言語などの発達状況）などの評価と早期支援、育児上の問題となる事項、必要に応じ、専門相談等

◆ 留意事項

- (1) ①の健康診査の実施に当たっては、委託先の医療機関と連携を密に行うとともに、健康診査の結果等の情報の活用などにより伴走型相談支援の効果的な実施につなげること。また、健康診査の実施が虐待の予防及び早期発見に資するものであることに留意し、こども家庭センターなどの関係機関とも連携しながら、必要な支援体制の整備を行うこと。
- (2) ②の健康診査の実施に当たっては、健康診査の結果、発達障害等（発達障害等の疑いを含む。）と判定された幼児について、就学前までに必要な支援につなげることができるよう、関係部局や都道府県等とも協力しながら、地域における必要な支援体制の整備を行うこと。

実施主体等

- ◆ 実施主体：市町村 ◆ 補助率：国1/2、市町村1/2
- ◆ 補助基準額：① 6,000円／人（原則として個別健診） ② 5,000円／人（原則として集団健診） 4000 円 14 %

乳幼児健康診査実施支援事業

成育局 母子保健課

令和7年度補正予算 1億円【令和6年度補正創設】

事業の目的

3～6か月児健診、9～11か月児健診、5歳児健診については、集団健診で行っている自治体も多く、また、法定ではなく任意健診であるが、身体の状態や発達の評価等を行うために重要な健診であり、すべての自治体で健診実施を行えるように体制整備を行う必要がある。

しかし、一部の自治体では健診が未実施となっており、その理由としては、

- ①健診医が確保できない
- ②医師以外の専門職が確保できない
- ③健診実施に当たっての基本的な運営や、特に5歳児についてフォローアップも含めた体制整備が困難といった課題が挙げられた。

そのため、各自治体において、健診医や専門職の確保が難しい地域や、過疎地等での健診実施を図るため、健診実施の体制整備を行えるよう支援をし、各健診の全国での実施を目指す。また、都道府県による医師確保のための大学病院への働きかけや技術的助言等を通じて、自治体における健診実施体制の構築を促進する。

事業の概要

都道府県事業

(1) 関係団体との調整や、広域連携の実施等の健診実施に向けた調整、研修についての補助

(3～6か月児健診、9～11か月児健診、5歳児健診)

(2) 健診医や多職種連携のための専門職等の確保のための派遣費用等の補助 (3～6か月児健診、9～11か月児健診、5歳児健診) 市町村事業 (※3～6か月児、9～11か月児健診の支援については、未実施自治体のスタートアップ支援とする)

(3) 健診医や多職種連携のための専門職等の確保のための派遣費用等の補助 (3～6か月児健診、9～11か月児健診、5歳児健診)

(4) 各健診の運営や基礎的な事項に関する研修、5歳児健診特化のフォローアップ体制の研修費用 (保健師・心理士等の医療従事者・教育関係者が対象) (3～6か月児健診、9～11か月児健診、5歳児健診)

実施主体等

【実施主体】 (1) (2) 都道府県 (3) (4) 市町村 【補助率】 1/2

【補助基準額】 (1) 1都道府県あたり 1,722千円 (2) (3) 1都道府県あたり・1市町村あたり 884千円
(4) 1市町村あたり 293千円

別紙様式 1

(会派名または議員名 持田 ちえ)

政務活動費支出書

支出科目	研究・研修会費	内 訳	旅費	支出番号	8
支 出 日	2026年1月29日		支出金額	28,840 円	
支 出 先	JR西日本				
支出内容	1/29新大阪→東京¥14,320 東京→新大阪¥14,520 出張調査報告書は支出書No7に添付				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

EXご利用票 (座席のご案内)
Seat Information
ご利用票では改札口は通れません
Please DO NOT put this into the ticket gate.

26年 1月29日
¥14,320 3002/予2068新大6009
000454914042 JE331 **** 1270 2338

新大阪 ▶ 東京
9:15発 11:45着 ㊟
のぞみ226号12号車 2番D席

このご利用票はきっぷではありません
This is not a ticket. To exit the gate, please prepare the IC card or the QR-Ticket you used for entry.

・車内改札の際は、このご利用票を呈示してください。
・記載以外の座席をご利用の場合は、入場時に使用されたICカード等を確認させていただきます。

EXご利用票 (座席のご案内)
Seat Information
ご利用票では改札口は通れません
Please DO NOT put this into the ticket gate.

26年 1月30日
¥14,520 3002/予2069東京6501
000973859359 JE331 **** 1270 2338

東京 ▶ 新大阪
14:21発 16:48着 ㊟
のぞみ395号12号車 7番C席

このご利用票はきっぷではありません
This is not a ticket. To exit the gate, please prepare the IC card or the QR-Ticket you used for entry.

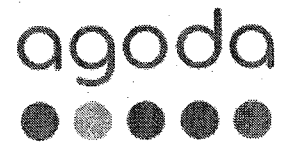
・車内改札の際は、このご利用票を呈示してください。
・記載以外の座席をご利用の場合は、入場時に使用されたICカード等を確認させていただきます。

別紙様式 1

(会派名または議員名 持田 ちえ)

政務活動費支出書

支出科目	研究・研修会費	内 訳	旅費	支出番号	9
支 出 日	2026年1月26日		支出金額	13,154 円	
支 出 先	Agoda International Japan				
支出内容	1/29～1/30 宿泊代 出張調査報告書は支出書No7に添付				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額



住所：
Agoda International Japan株式会社
東京都渋谷区
恵比寿南1-7-8
恵比寿サウスワン8階

予約番号 1692384807
支払日 January 26, 2026

領収書

宿泊者氏名 & 住所	
名前	持田ちえ
請求書送付先	宝塚市山手台東3
Eメールアドレス	

記述		合計
ホテル名	APA Hotel Pride Akasaka Kokkaigijidomae	
期間	January 29, 2026 - January 30, 2026 (泊数 : 1泊)	
部屋タイプ	Standard Room for 1 Person - Non-Smoking	
部屋数	1	
エクストラベッド数	0	
客室合計金額		USD 84.49
エクストラベッド合計金額		USD 0.00
総合金額		USD 84.49
合計お支払い金額		JPY 13,154 (USD 84.49)

この領収書は自動的に作成されています。



別紙様式 1

(会派名または議員名 持田 ちえ)

政務活動費支出書

支出科目	調査費	内 訳	旅費	支出番号	10
支 出 日	2025年8月3日		支出金額	21,300 円	
支 出 先	ホテルルートイン 塩尻				
支出内容	8/3～8/5宿泊料 (2泊)				

<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可

領 収 書
No.000240796 HOST 25/08/03 21:05
登録番号 : T9010701012499

[チェックイン]

部屋No. 616

ご利用期間 2025/08/03～2025/08/05
ご利用日 2025/08/03

お 名 前 モチダ チエ 様

ご請求額 21,300円

上記金額を領収致しました

ホテルルートイン 塩尻

長野県塩尻市大字広丘高出1548-1
TEL 0263-51-5000
FAX 0263-51-5111

印紙税申告納
付につき品川
税務署承認済

ルートインジャパン株式会社
作成地：東京都品川区大井 1-35-3

◆ご利用明細◆

ご請求額 21,300円

室料 (2泊分) 21,300円
(10%税込 対象合計 21,300円
内消費税 1,936円)

ご入金額 21,300円(VISA)

議長	副議長	局長	次長	課長	副課長	係長	係	合
別紙様式3-2	(議員用)							議

出張調査（研究・研修会参加）報告書

宝塚市議会議員 様

議員名（※）

持田ちえ

（※）自署しない場合は記名押印してください。

出張調査（研究・研修会参加）の結果について、次のとおり報告します。

- 調査先（研究・研修会会場） 塩尻市企画課（長野県塩尻市大門七番町3番3号）
塩尻市立図書館（長野県塩尻市大門一番町12番2号）
- 期 間 令和 7年 8月 3日 ～ 令和 7年 8月5日
- 出張者氏名（議員名） 持田ちえ

- 調査項目、テーマ ※調査結果の概要、所見等については別紙を添付

塩尻市：ウェルビーイング向上に向けた取組について
尻市図書館：図書館サービス計画について

塩

5 旅費

①鉄道賃等

月 日	交通機関	経 路	金額	領収書の有無※	備 考
8 / 3	阪急バス	山手台三丁目～阪急山本駅	240円	有・無	
8 / 3	阪急電車	山本～大阪梅田	290円	有・無	
8 / 3	JR 大阪スロー	大阪梅田～新大阪	180円	有・無	
8/3	新幹線	新大阪～名古屋	6,680円	有・無	
8/3	しなの	名古屋市～塩尻	6,010円	有・無	
8/5	しなの	塩尻～名古屋	5,810円	有・無	
8/5	新幹線	名古屋(市)～新大阪	6,680円	有・無	
合 計 (小計)			25,890円		

※原則として領収書の添付が必要だが、券売機での切符購入等で領収書が徴しがたい場合は、2,000円以内の支出に限り、本報告書への記入をもって領収書の添付に代えるものとする。

②宿泊料

2人	金額 計	21,300円
6 交通費	ガソリン代	円
	高速代	円
	駐車場代	円
	自動車借上料	円
	計	円

7 出席者負担金・会費 @ × 人 = 円

【記入要領】

- ア 出張調査（市内を除く）、研究・研修会参加（市外、市内とも）の場合、この報告書を作成すること。
- イ 調査（研究・研修）結果の概要、所見等については別紙を添付すること（書式は任意）。
- ウ 鉄道賃等は、現に要した実費を記入すること（領収書を別紙に添付する）。ただし、行程等については経済的かつ合理的な経路及び方法によるものとする。
- エ 通常の経路以外の経路を用いた場合は、その合理的な理由を備考欄に記入すること。
- オ 宿泊料は、上限額（13,000円）以内で現に要した実費を記入すること（領収書を別紙に添付する）。
- カ 鉄道賃等と宿泊料がセットになっている場合は、鉄道賃等の項に合計金額を記入し、その旨を備考欄に付記すること。



旅費計算書

月 日	交通機関	経 路	金 額	備 考
8/5	阪急バス ✓	山手台三丁目～阪急山本駅	✓ 240円	} 領収書無
8/5	地下鉄 JR ✓	新大阪～梅田大阪	✓ 190 170円	
8/5	阪急電車 ✓	山本～大阪梅田	✓ 290円	
		～		
		～		
		～		
		～ (小計)	710円	
合 計			26600 29,680円	

※ 市内における調査のために交通機関を利用した場合で、券売機での切符購入等で領収書が徴しがたいときは、2,000円以内の支出に限り、本計算書への記入をもって領収書の添付に代えるものとする。

2025 年 8 月 4、5 日長野県塩尻市

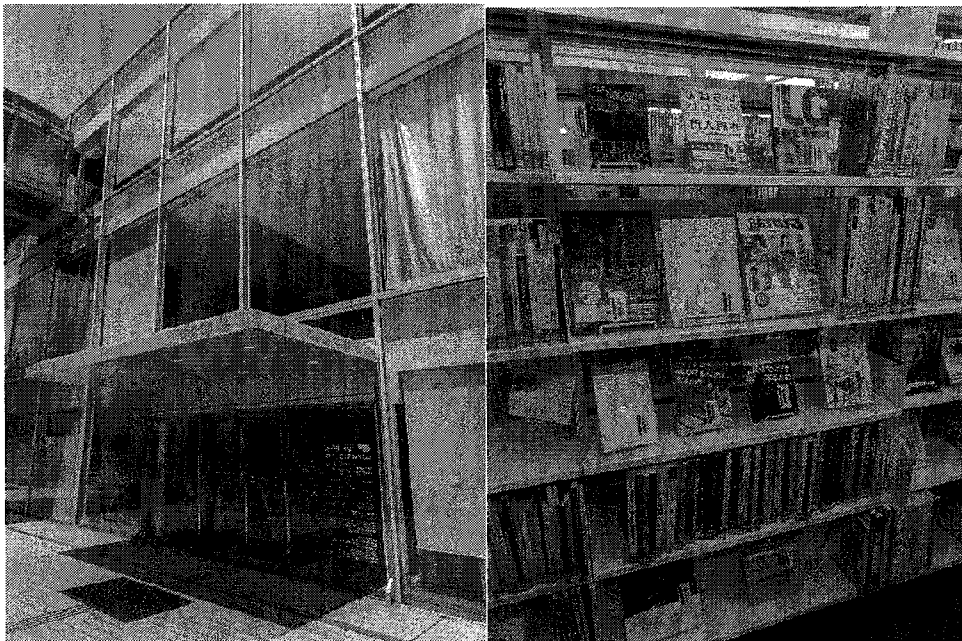
塩尻市：ウェルビーイングの向上に向けた取組について

塩尻市立図書館：図書館サービス計画について

第六次総合計画の策定にあたり、初期段階から市民との議論の場を 200 回以上持った。議論の中から計画の在り方の定義づけを行うとともに、策定される計画の使われ方を共通理解に落とし込む過程があったことが重要である。計画は作ることが目的ではなくどのように活かされていくべきかを検討する中から、本来の計画の大事な部分に暮らしの質や幸福感＝ウェルビーイングが内側から出てきたことに大きな意義があった。

塩尻市としてスピード感を持って挑戦し続けることで、市民満足度の向上に寄与しているという行政のスタンスが市民の意識をけん引しているという環境が作られていることがわかりました。

塩尻市立図書館サービス計画は、単なる本の貸し借りをする場の図書館ではなく、地域の中でどういった役割を担えるか、市民ニーズにこたえるには何ができるのかという視点が大きいに入れられたことが重要だと理解した。市民を取り巻く地域社会の多様化や新たな地域課題に対応する視点を重視したとあります。設置されているテーブルやいすも、どんな人も「そこにいていい」を感じさせるようなものとなっていた。用事がなくとも立ち寄れる施設となっており、子どもからお年寄り様々な世代がゆるくつながりをもてるような環境づくりを工夫されてました。また、図書館の配置も利用する人の目線にたち、動線が考えられており、市民の満足度というものが第一に考えていることがわかりました。



第六次総合計画について (庁内研修)

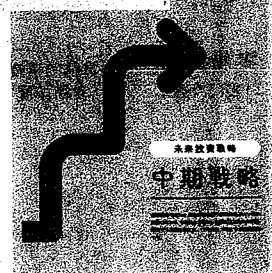
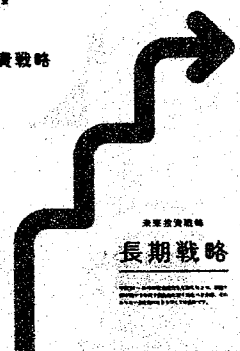
企画政策部企画課

令和6年4月15日及び4月22日



研修の目標

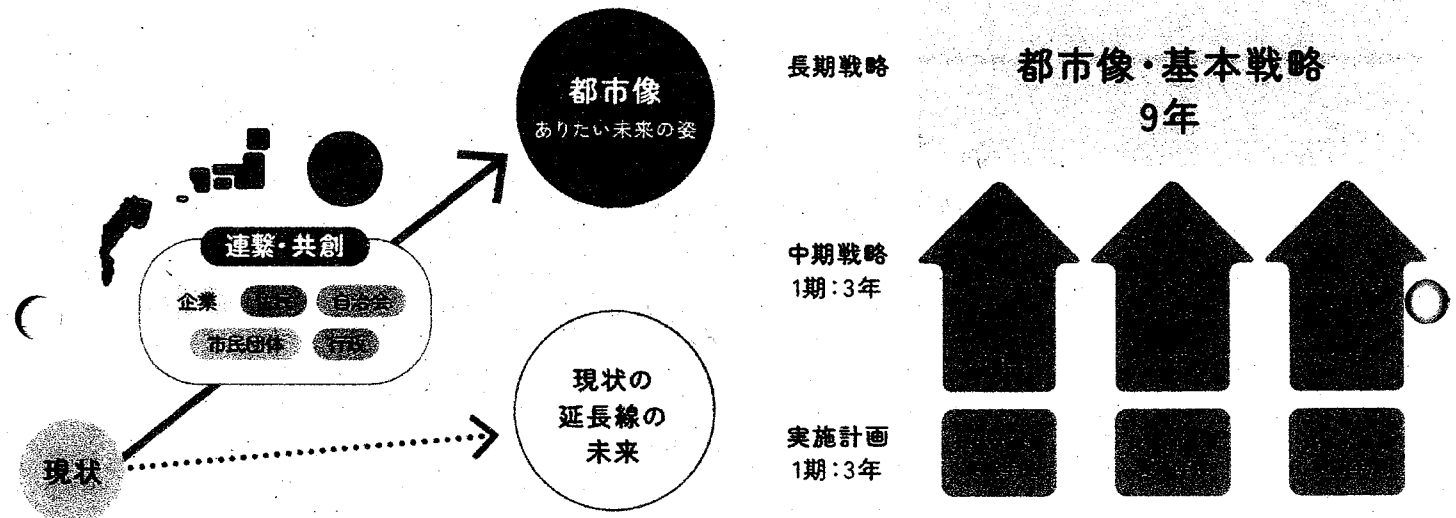
- 総合計画の見方、使い方がわかる
→読み返して理解する
- 自分のパートを把握している
→庁内で共有できる、説明できる
- 自分のパートについて改善・削減が浮かぶ
→関係者とディスカッションできる



総合計画の概要

次の9年間で

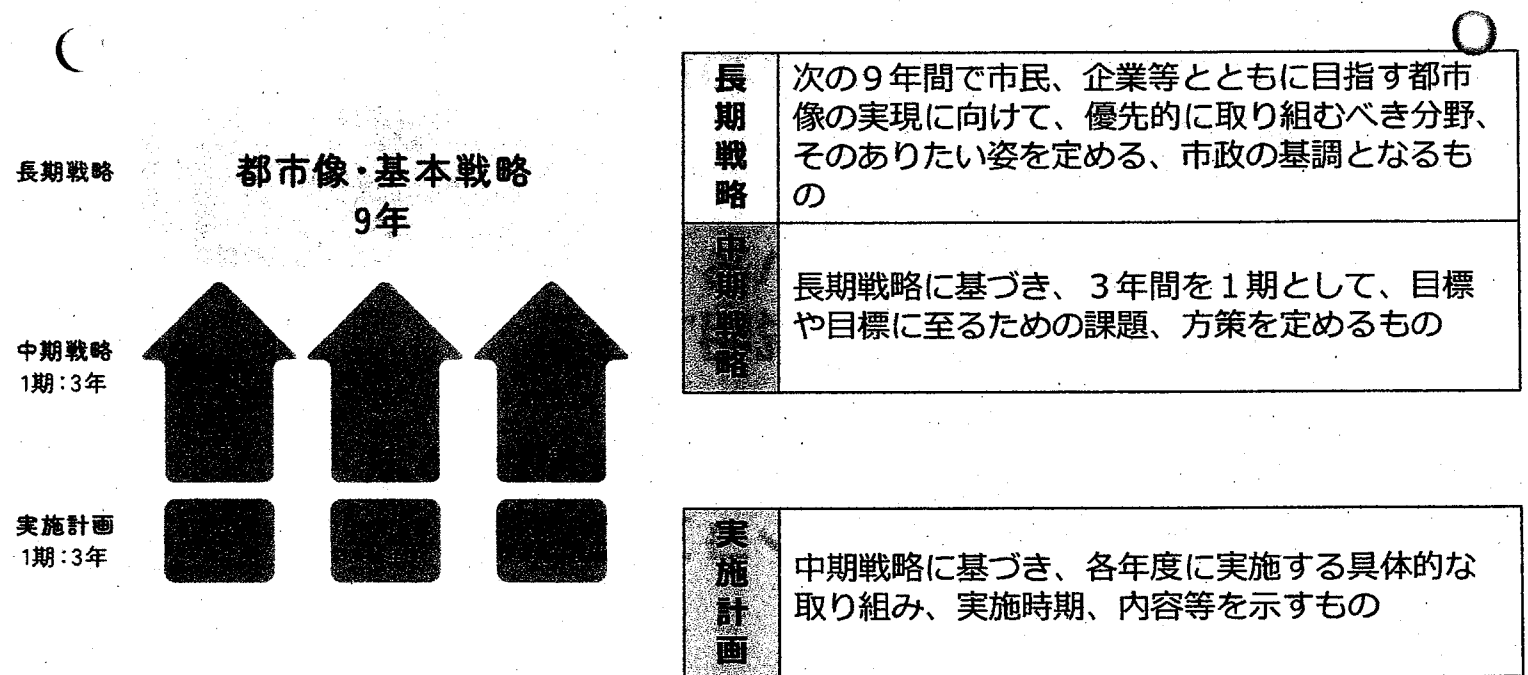
- 市民等とともに目指す都市像（共通の目標）
- 重点（優先的に取り組むべき）分野 や ありたい姿を定めた最上位の計画として市政の基調であり、地域の未来への投資戦略
⇒すなわち予算や活動（人員配置など）の配分指針



総合計画の概要

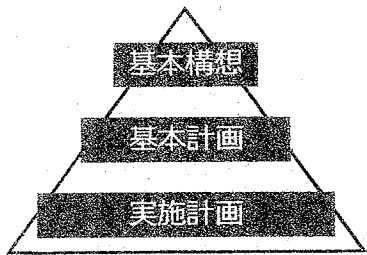
計画の構造・構成

- 9年間の長期戦略と1期3年間の中期戦略から構成し、実施計画によって具体化



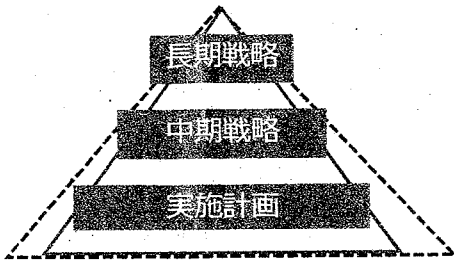
第六次総合計画の特色（特徴①）

第四次総合計画



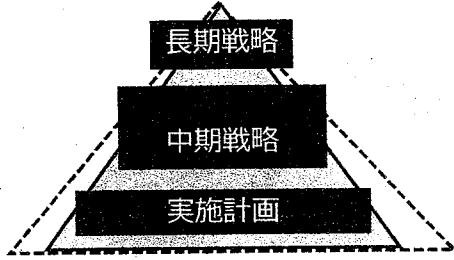
総花計画

第五次総合計画



戦略計画

第六次総合計画



未来投資戦略



重点投資

- 長期戦略に掲げた未来のありたい姿の実現や、社会変化への機敏な対応をするため、早期に成果を導出していく取組を「重点投資」として明示
- この「投資」には、事業費だけでなく、人的資源等も含む



ブランド戦略

- ブランド戦略は、市民や市外の方に「いい記憶」や「いい経験」を提供することで塩尻市のイメージを向上して塩尻市の価値を高める戦略
- 塩尻市の強みであるブランド資産を生かし、他地域との差別化を図る。

本市の源泉となる強み

田園都市としての強み

暮らし豊か・確か
-安心・快適・健康-



New

Core

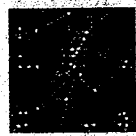


自然・農村風土
の恵み



大都市・近隣都市との交通利便

大都市・近隣都市
との交通利便



磨いてきた
日本の伝統

目指す都市像

多彩な暮らし、叶えるまち。

- 田園都市 しおじり -

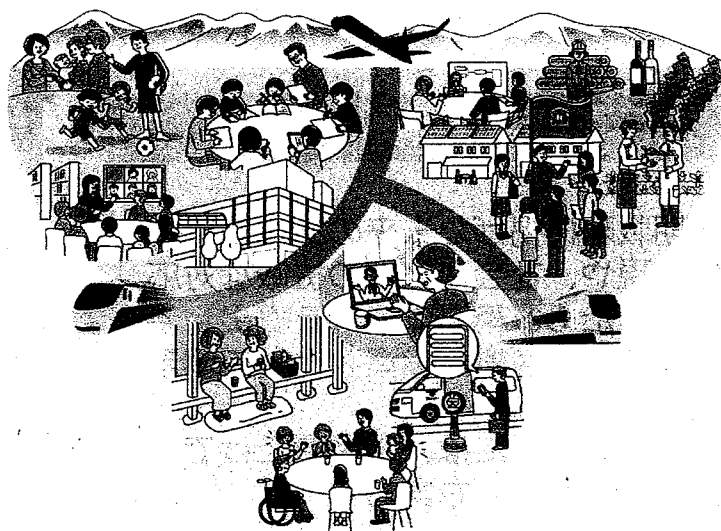


お互いや地域を支え、課題の解決に挑戦したい市内外の人々がつながり、応援されることで、新たな価値を生み出し、それぞれの暮らしの質と幸福感の向上、すなわちウェルビーイング（身体的、精神的、社会的に良好な状態）を実現する

多彩

叶える

田園都市



7

大事にしていること（特徴②）

第五次総合計画

確かな暮らし



第六次総合計画

ウェルビーイング＝暮らしの質と幸福感

ウェルビーイング
(身体的、精神的、社会的に良好な状態)

幸福感

暮らしの質

NEW

市民幸福度

総人口、暮らしの満足度

令和14年 成果指標と目標

1

市民幸福度(10点満点)の主観的評価が、平均6.77点(基準値)以上

令和14年 成果指標と目標

2

総人口 65,000人以上(国勢調査人口基準)

基本戦略と9分野、ブランド戦略

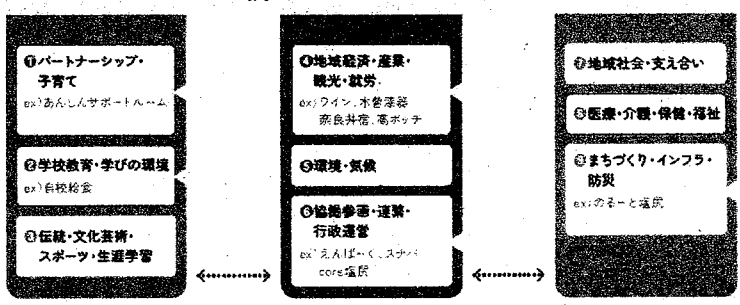
- 基本戦略は、本市の強みを生かし、優先して投資すべき分野を示すもの。3つの基本戦略に沿って、行政等の資源を重点的に投入するとともに、多様な主体との共創を活性化させ、都市像の実現を目指す。
- さらに市に対する良いイメージを形成するために、さらに選別したブランド施策・事業を展開する。

目指す都市像

指標：市民幸福度、総人口



ブランド戦略 一部の施策で他都市との差別化を強化(矢印は例)



優先して投資すべき分野(①②③④)

暮らしの満足度への影響が大きい分野(①②③④)

オレンジ文字 現在進行中のブランド事業例

9つのありたい姿

未来共育

次世代とともに学び成長し、ワクワクして暮らす

【未来戦略が描くありたい姿】

一人ひとりの多様な個性についての理解のもと、家庭環境によって子どもが育ち、安心して暮らしています。

【未来戦略が描くありたい姿】

子どもたちがワクワクする学びを自ら発見できるとともに、大人や町の人たちも何事でも、互いに助け合ったりと助け合っています。

【未来戦略が描くありたい姿】

一人ひとりが日常を暮らす活動で自らと次世代の笑顔あふれる豊かな生活をつくり、このことが新たなつながりを生んでいます。

【未来戦略が描くありたい姿】

塩尻に魅力と誇りを見出す人たちがつながり、喜びと誇りを持ちながら暮らす、多様な価値観の新しい事業・商品・サービスを展開しています。

【未来戦略が描くありたい姿】

生活や経済活動で、エネルギーの循環可能な社会が実現されて、生活の質が向上しています。

【未来戦略が描くありたい姿】

市民と行政がともに「自分事」で取り組む取組が、多様な人材や組織を引きつけ、共創が促進されています。

共創循環

共創で新たな付加価値を生み、循環させ、イキイキと暮らす

安心共生

つながり、支え合い、自分らしくニゴニゴして暮らす

【未来戦略が描くありたい姿】

ゆるやかなつながりと、地域が育つ「お互い支え合い」で暮らしを支え合い、困りごとの解決に寄り添っています。

【未来戦略が描くありたい姿】

一人ひとりが健康で、働きやすい環境とそれぞれの個性と向き合いながら、自らの価値を守ることや関わりに対してできることを考えた活動によって、日常生活を豊かに暮らすことができます。

【未来戦略が描くありたい姿】

充実した都市インフラの上で、多様な活動が可能な社会が実現するとともに、災害から生活を守り、いち早く日常を取り戻すことができます。

9つのありたい姿（未来共育）

次世代とともに学び成長し、**ワクワク**して暮らす

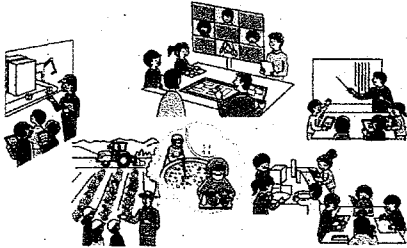
戦略分野1 パートナーシップ・子育て

一人ひとりや家族の多様性についての理解のもと、家庭環境によらず子どもと家庭が応援され、安心して暮らしています



戦略分野2 学校教育・学びの環境

子どもたちが**ワクワク**する学びを自ら発見できるとともに、友人や関わる人たちと共感でき、「塩尻に帰ってきたい」と思う体験ができています



戦略分野3 伝統・文化芸術・スポーツ・生涯学習

一人ひとりが日常を離れ好きな活動で自信と次世代の笑顔あふれる豊かな生活をつくり、このことが新たなつながりを生んでいます



9つのありたい姿（共創循環）

共創で新たな付加価値を生み循環させ、**イキイキ**と暮らす

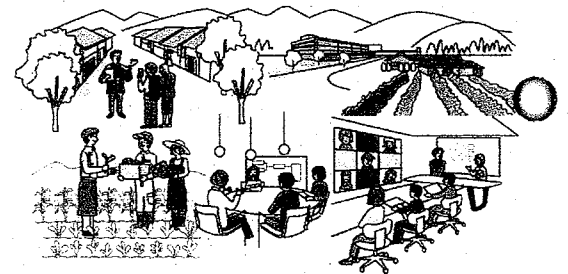
戦略分野4 地域経済・産業・観光・就労

塩尻に魅力と価値を見出す人たちがつながり、喜びと誇りを持ちながら働き、多様で付加価値の高い事業・商品・サービスを支えています



戦略分野5 環境・気候

生活や経済活動で、エネルギーをはじめ調達可能な資源が活用されて生活の充実や楽しみになっています



戦略分野6 協働参画・連繋・行政運営

市民と行政がともに「自分事」ではじめる取組が、多様な人材や組織を引きつけ、共創が加速しています

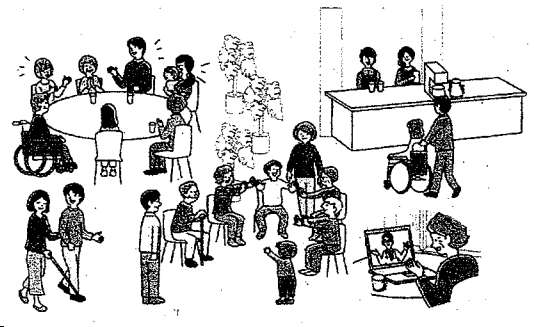


9つのありたい姿（安心共生）

つながり、支え合い、自分らしく生活して暮らす

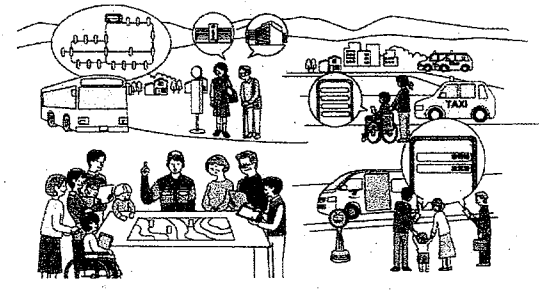
戦略分野7 地域社会・支え合い

ゆるやかなつながりと、感謝が循環する「お互い様文化」で暮らしを支え合い、困りごとの解決に寄り添っています



戦略分野8 医療・介護・保健・福祉

一人ひとりが健康や老い、障がいなどそれぞれの特性と向き合いながら、自らの健康を守ることや周りに対してできることを考えた活動によって、日常生活を自立して送ることができています



戦略分野9 まちづくり・インフラ・防災

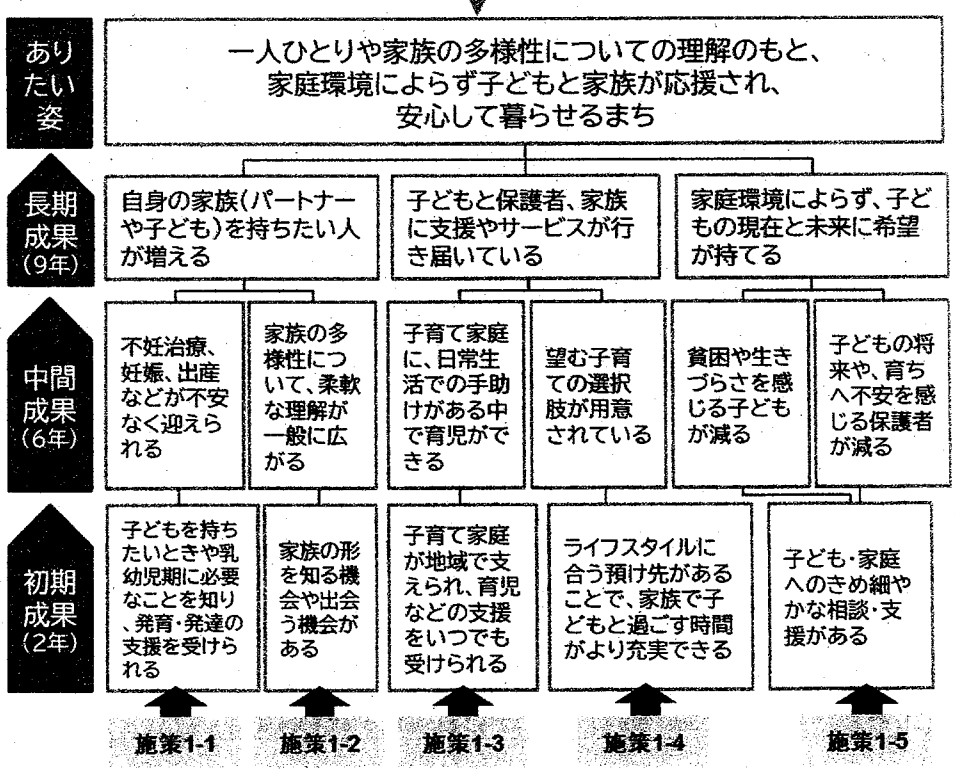
安定した都市インフラの上で、まちで活動したくなる仕掛けが充実するとともに、災害等から生活を守り、いち早く日常を取り戻す備えができています

ロジックモデル（特徴③）

初期、中間、長期の段階にわけて、ありたい姿を実現するためのステップを記載

戦略分野1 パートナシップ・子育て

一人ひとりや家族の多様性についての理解のもと、家庭環境によらず子どもと家庭が応援され、安心して暮らしています。



目標・達成したい状態の精緻化（特徴④）

- 1 令和8年度に達成してきたい状態を上段に設定
達成したい状態をさらに一步掘り下げて、目指す方向性を具体的に記載
- 2 客観（統計）指標と主観（市民）指標に加え、ブランド事業に位置付けられる14事業についてはブランド指標を設定。目標値の考え方も記載。

第五次総合計画

施策1-1 出産・子育てサポート体制の充実

子育て中の父母や出産前の家庭に対して、安心して出産できる環境の整備、地域ぐるみでの子どもの健やかな成長や父母の安心をもたらし支援等により、出産、子育てに対する不安や負担を軽減します。

指標項目	指標名	現状値 [令和5年度]	目標値 [令和8年度]
統計指標	乳幼児健診平均受診率	98.2% [R1]	99.0%
	育てにくさを感じた時に、相談先などの解決方法を知っている乳幼児の親の割合	85.6% [R1]	増加
	子育て支援センタープレイルーム利用者数	34,756人 [R1]	35,600人
市民指標	子育てに対して希望や期待より不安や負担を感じる女性の割合	4.4% [R2]	維持

第六次総合計画

1 施策1-1

子どもを持ちたいときや乳幼児期に必要なことを知り、
発育・発達支援を受けられる

目指す方向性

- 年間約400～500人の出生がある中、子どもを授かる前から乳幼児期まで、切れ目のない情報提供と相談支援が整備され、そのことが市民に認知されています。
- 子どもを持ちたい人が相談できる窓口があり、適切な支援先や支援策につながっています。
- 妊娠中及び産後の母子の健康や乳幼児の発育・発達に関する不安が、定期的な健診、情報提供、相談支援、*アクトリーチ等によって解消しています。

2

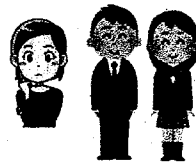
指標項目	指標名	現状値 [令和5年度]	目標値 [令和8年度]	目標値 考え方
客観指標	妊娠知覚時にポジティブな感情を持った方の割合	93.8% [R2-R4平均]	94.0%	高割合を増加
客観指標	身体的リスクが小さい20-39歳で出産する割合	94.9% [R2-R4平均]	95.0%	高割合を増加
主観指標	子育てに対して希望や期待より不安や負担を感じる市民の割合(20～49歳)[抑制目標]	36.4% [R5]	31.4%	ブランド強化に向け高い5%改善
ブランド指標	妊娠から出産まであんしんサポートルームの延べ利用者数	3,361人 [R4]	3,700人	コロナ禍前H29-R1平均に出生数減少影響を考慮した増加

総合計画の使い方、共創アクション（特徴⑤）

使い方の例

●自分と関わりがありそうな分野で何かはじめたい

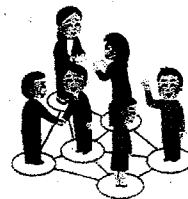
- P5 あてはまる分野を探す
- P7～自身に関連しそうな事柄を確認
・まちとしてはどんなこと・ステップが目指されているのか
- P9～想定される取組を材料に考える
・関心と近い、関わりたいものはあるか
・求められている、できることが見つからないか



市内外から
興味関心を寄せる人

●取組をさらに良くしたい

- P7～周辺・関連することを振り返る
・環境や条件で変わってきていることはないか
・関係者・協力者と目指すステップは共感できているか
- P9～取組は上手くいっているか考える
・見聞きする情報・意見とかけ離れていないか



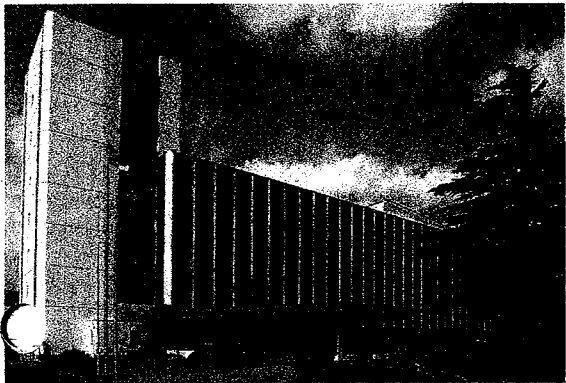
分野ごと関係団体
職員実務者

[Ⅲ] ありたい未来をつくる“共創アクション”

市民等が できること	●子どもを持ちたいと考える方、子どものいる世帯・家族 ・将来のことを考え、不妊・不育などを含む妊よう性・健康管理に関心をもつ（*プレコンセプションケア） ・妊娠中、育児中の母親の不安や負担を理解し、軽減する ・子育てサークルや子育てサロン等へ参加する ●近所・知人 ・出産・子育て等への理解を深め、日常的な声かけ、見守り、交流に努める
関係機関と 連携して 進めること	●医療機関 ・安心して子どもを産み育てる医療体制の確保 ●企業 ・結婚や出産、働きながら子育てすることに見通しが持てる職場環境づくり

- ありたい未来の実現に向け、
施策ごとに市民や関係機関
ができることを記載

— 行政の使命 —
現在と未来の「市民」のウェルビーイングに貢献する



現在と未来

現在だけでなく、
将来世代に対しても

「市民」

市内だけでなく、市外も
含むしおじりに関わって
いる人すべて

ウェル
ビーイング

暮らしの質と
幸福感の向上

マネジメント方針（組織の行動指針）

①

多様な主体との協働・共創

②

戦略的な人的資本の活用・成長

③

執行手段や組織の在り方の革新

- ① 地縁組織や公益活動団体との時代変化に合わせた協働の構築
- ② 市内外から新たに公共に関わる個人や組織との連繋
- ③ 多様な主体間のつながり（公共私相互の協力関係）のコーディネート
- ④ 価値創造を促すファシリテーションの推進

- ① 政策と連動した人材マネジメント戦略の推進
- ② 人材の多様性や包括性の確保
- ③ 変革の潮流に対応できる人材育成制度の推進
- ④ 多様な人材が働きやすい環境（エンゲージメントと多様な働き方）の構築

- ① デジタル技術等を取り込んだ価値創造
- ② プロセス（活動）だけでなく、セオリー（道筋・目標）の評価と改善
- ③ 組織の自律的運営と横断的ネットワークの強化
- ④ 行政資産等の最適化や、広域・圏域単位のガバナンスの検討



協働・共創
指針へ



人材育成・活用
方針へ



行政改革
方針へ

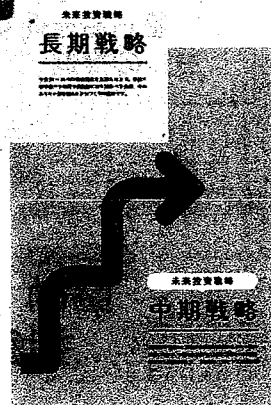
塩尻市の存在意義（パーパス）

私たちは、地方創新のパイオニアになる

しおじりは、自然と都市機能が調和した田園都市を目指して歩みを進めてきました。
その中で私たちが大切にしてきたもの、それは「挑戦」と「スピード」です。
これまでも全国で2番目の早さで地方版総合戦略を策定するなど、
新しいことにスピード感を持って挑戦し続けることで、市民満足度の向上を目指してきました。
「地方創生のフロントランナーから地方創新のパイオニアへ」
これからも変わらぬ姿勢で挑み続けることで、「新」たなサービスを「創」る。
しおじりに関わる全てのみなさまの生活をより豊かにしていきたいと考えています。
私たちは、これからも歩みを緩めることなく、進み続けます。

研修の目標

- 総合計画の見方、使い方がわかる
→ 読み返して理解する
- 自分のパートを把握している
→ 庁内で共有できる、説明できる
- 自分のパートについて改善・削減が浮かぶ
→ 関係者とディスカッションできる



【概要版】

第2次塩尻市立図書館 サービス計画

世界が広がり 未来がひらける 知の交流拠点



2024(令和6)年3月
塩尻市立図書館

第2次 塩尻市立図書館 サービス計画 (概要版)

この概要版に記載した内容は、『第2次塩尻市立図書館サービス計画』から一部抜粋しています。

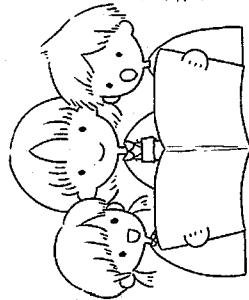
計画の位置づけ

この計画は、第1次図書館サービス計画の期間満了にあたり、第6次塩尻市総合計画と整合を図りながら、その個別計画として策定するものです。第1次サービス計画に沿って進めてきた図書館サービスの成果を検証し、市民を取り巻く地域社会の多様化や新たな地域課題に対応する視点を重視しました。

計画の構成

第6次総合計画の目指す都市像「多彩な暮らし、叶えるまち。一田園都市しおじりー」の実現に向けて、図書館の“ありたい姿”を市民の皆さんが期待する“ありたい姿”に重ね合わせ共有できるフレーズとして「世界が広がり 未来がひろく、ワクワクし、また来たくなるー」としました。

ありたい姿の実現を目指すために、基本機能の充実と計画の土台に据え、3つの柱「I 読書により学びと交流が広がる」「II 多彩な暮らしを支える」「III 挑戦し進化する」を立て、それぞれに方向性1、2を示し、重点事項と具体的な取組、成果指標を設定しました。



この体系図は、えんぴつを象徴する壁柱と塩尻市から見える観音岳をイメージしています。

重点

多種多様な資料の収集、提供、保存
レファレンスサービスの充実
司書のスキル向上
分館機能の充実
アウトリーチサービスの展開

取組

地域資料のデジタル化・公開方法の研究
すみわけを意識した蔵書構築の推進
出張図書館サービスの拡充
アウトリーチサービスの利用促進
司書の処遇向上について研究

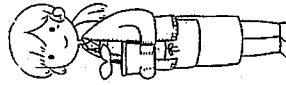
基本機能/サービス基盤の充実

基本機能

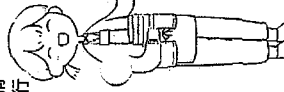
【機能1】 多様な資料の収集、提供、保存と地域資料の充実
【機能2】 調査や相談、情報提供支援の強化と専門性の向上
【機能3】 すべての市民に対して図書館サービスを提供する体制づくり



地域や家庭など、一人ひとりに合わせた活躍の機会を提供・応援することともに、交流が生まれ、生き生きとつくりを行います。



すべての市民に情報探索の支援を行います。



市民や様々な団体・機関と積極的に関連すること、新たな価値を生みだします。



一方向性2ー

一方向性1ー

暮らしや趣味、仕事、地域の課題に役立つ幅広い情報を発信します。

社会変化に対応し、うる図書館サービスの創出を継続的に、検証していきます。

読書により
学びと交流が
広がる

多彩な暮らし
()
を支える

III

挑戦し
進化する

世界が広がり
未来がひろく

心の交流拠点

心な地がよくワクワクしまた来たくなる

読書により
学びと交流が広がる

- ・各種読書推進事業の実施
- ・新たな本と出会う取組の推進
- ・出版文化への理解を深め次世代につなぐ
- ・読書バリアフリーに向けたサービス体制の整備と誰もが読書や図書館を楽しむ環境づくり
- ・市民協働による読書活動の推進
- ・市民の経験やスキルを生かす場の提供
- ・学校図書館と協力した子どもへの読書支援

- ・絵本プレゼント事業の拡大
- ・イベント等に手話や要約筆記の導入を検討(新)
- ・市民が講師となる講座の企画・運営(新)
- ・信州しおじり本の寺子屋の参加者が交流する友の会の設置(新)

*(新)は新規の取組

多彩な暮らしを支える

- ・個人・地域の課題解決につなげる取組
- ・他機関との連携による事業展開
- ・情報提供による課題の掘り起こし
- ・子どもの探究学習の支援
- ・市民の図書館活用促進
- ・市民自らが情報収集・活用をするための支援

- ・専門家の協力を得た相談会や講座の実施
- ・行政情報に関連した展示、情報発信
- ・探究学習に役立つ支援事業の実施(新)
- ・調べ方講座、情報活用講座の開催(新)
- ・情報を適切に理解・活用する講座の実施(新)

*(新)は新規の取組

挑戦し進化する

- ・社会的ニーズに対応する取組
- ・デジタル推進による利用者サービスの向上
- ・ICT活用による業務効率化
- ・地域との連携による取組
- ・市民活動団体などとの連携による図書館サービスの拡充

- ・デジタル化社会に必要な能力を身につける教育の推進(新)
- ・タブレット端末などの活用・貸出の研究(新)
- ・電子図書館の利用促進
- ・生成AIなどデジタル技術活用の研究(新)
- ・市内博物館デジタルアーカイブへの参画(新)
- ・地域産業の発展に貢献する情報サービス
- ・学校図書館と連携した子どもの読書、活字離れに対する取組の実施

*(新)は新規の取組

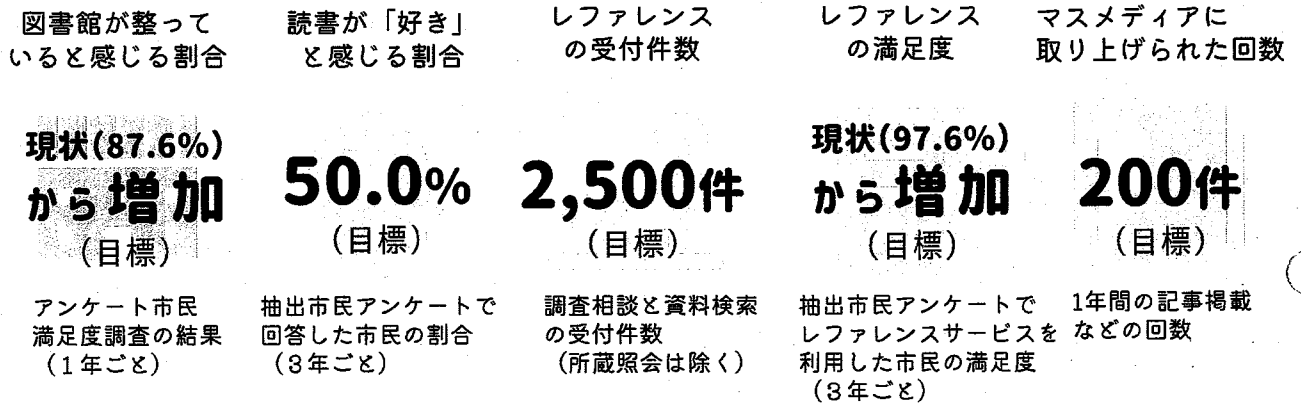
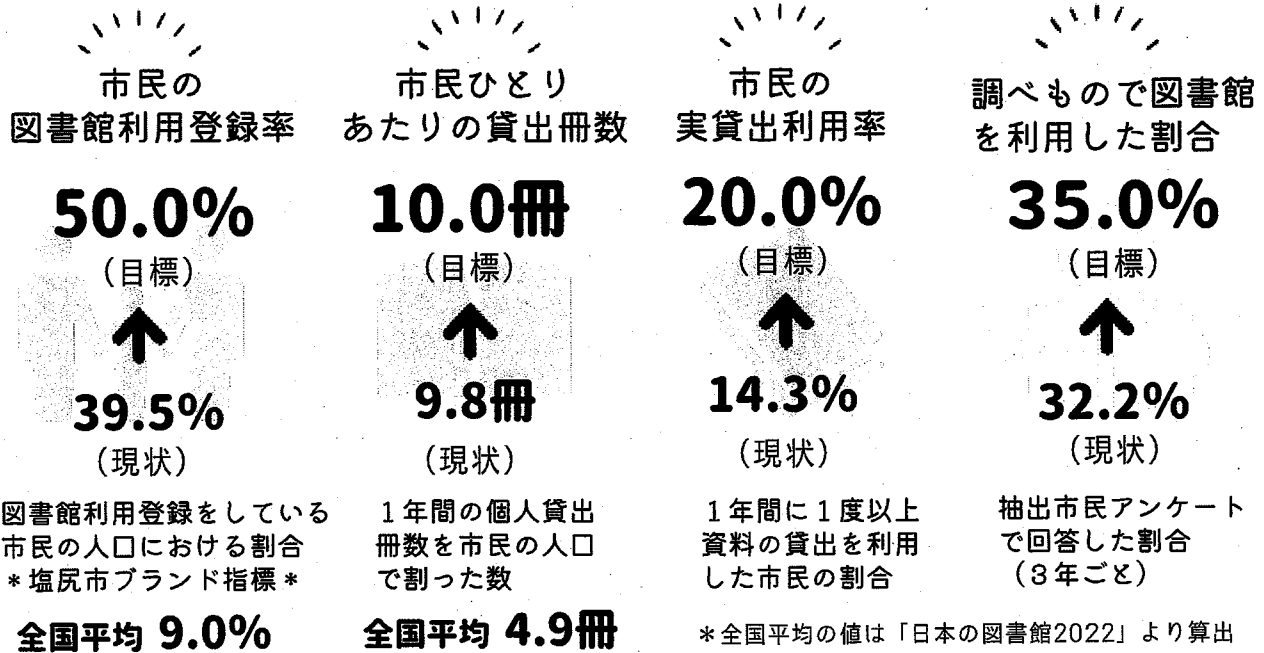
重点

取組

計画の期間と進捗管理

計画期間：2024（令和6）年度から 2032（令和14）年度までの9か年です。
3か年の3期に分け、それぞれ指標を設定し、評価、見直しを行います。

成果指標



本計画では全22項目の評価指標を設定しています。
成果指標と詳しい内容は、図書館ホームページ等でご確認いただけます。

第2次塩尻市立図書館サービス計画

2024年（令和6年）3月

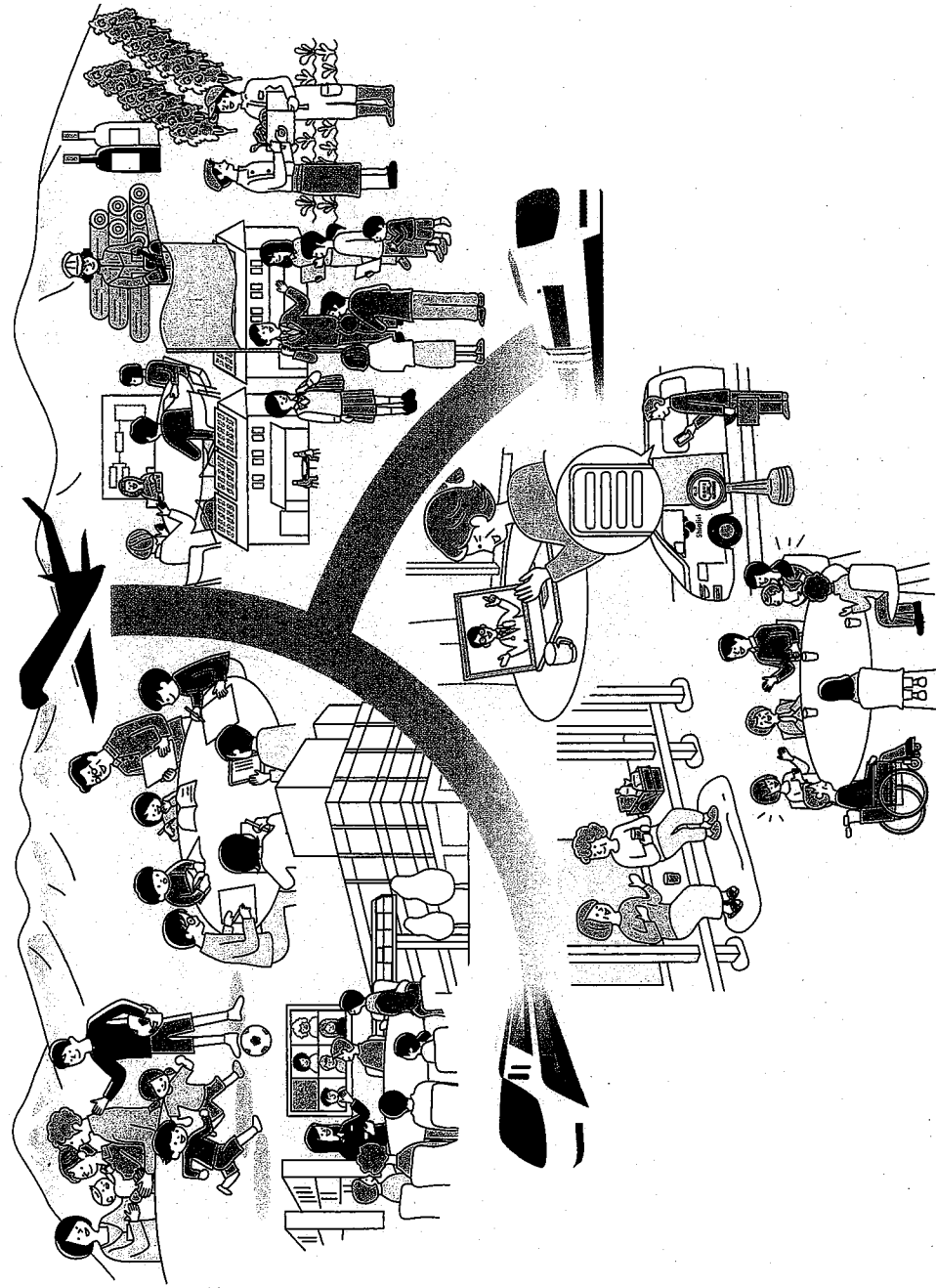
計画の詳しい内容は、次のホームページでもご覧いただけます。
塩尻市立図書館ホームページ：<https://www.library-shiojiri.jp/>
発行・編集／塩尻市立図書館



所在地／長野県塩尻市大門一番町12番2号 塩尻市市民交流センター内
電話／0263 - 53 - 3365 FAX／0263 - 53 - 3369

多彩な暮らし、叶えるまち。

— 田園都市しおじり —



第六次塩尻市総合計画

イラストで見る

市民読本

しおじり未来投資戦略

別紙様式 1

(会派名または議員名 持田 ちえ)

政務活動費支出書

支出科目	調査費	内 訳	旅費	支出番号	11
支 出 日	2025年7月27日		支出金額	13,360 円	
支 出 先	西日本旅客鉄道株式会社				
支出内容	新幹線 8/3：新大阪→名古屋 8/5：名古屋→新大阪 出張調査報告書は支出書No10に添付				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

領 収 書 持田ちえ 様
Receipt
領収年月日 2025.-7.27 登録番号: T1120001059675
金 額 ￥13,360 (消費税等込み) 税 10%

(クレジット扱い)
購入商品 JR乗車券類
(20079 2枚)
西日本旅客鉄道株式会社
中山寺駅F1発行 30080-02

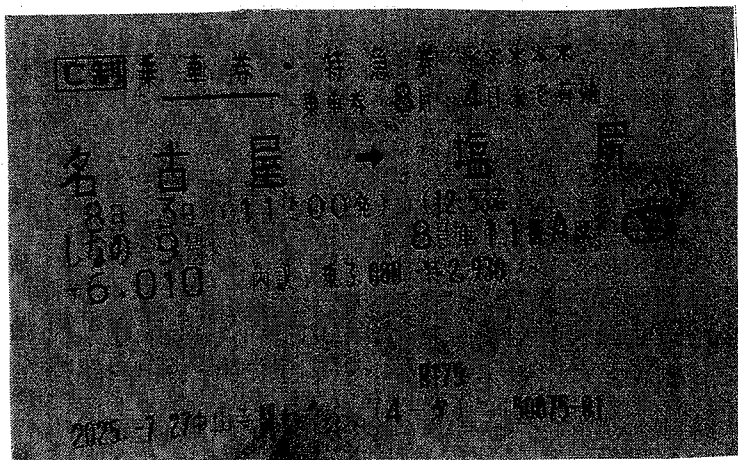
印紙税申告納
付につき大淀
税務署承認済

別紙様式 1

(会派名または議員名 持田 ちえ)

政務活動費支出書

支出科目	調査費	内 訳	旅費	支出番号	12
支 出 日	2025年7月27日		支出金額	6,010 円	
支 出 先	JR				
支出内容	8/3：名古屋→塩尻 出張調査報告書は支出書No10に添付				
＜領収書等添付欄＞ 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額



別紙様式 1

(会派名または議員名 持田 ちえ)

政務活動費支出書

支出科目	調査費	内 訳	旅費	支出番号	13
支 出 日	2025年8月5日		支出金額	5,810 円	
支 出 先	JR塩尻駅				
支出内容	8/5：塩尻→名古屋 出張調査報告書は支出書No10に添付 領収書原本は、浅谷議員の支出書No.8に添付				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

お客様控

クレジットカードご利用票 / CREDIT CARD SALES SLIP

R001

会社名・会員番号

RC-XXXXXXXXXXXX3719

有XX-XX

取引内容:お買上

支払区分: - 括

IC

¥11,620

承認番号:702089ATC0108 C00

商品名: (一括発券)指定券

2枚(冊)

8月 5日 しの 18号 塩尻→名古屋 乗車券込み

乗車変更や払戻しの取扱箇所、内容、方法等に制限があります。

払戻しの際は購入時のカードをお持ちください。

VISA CREDIT

A0000000031010

この控は大切に保存してください。

2025.-8.-5

10407-04

塩尻駅FN1発行

2人分 ¥11620

1人 ¥5810

(会派名または議員名 持田 ちえ)

政務活動費支出書

支出科目	調査費	内 訳	旅費	支出番号	14
支 出 日	2025年8月3日		支出金額	1,420 円	
支 出 先	阪急バス／阪急電車／JR				
支出内容	8/3⇄8/5 山手台3丁目⇄阪急山本駅@240×2／山本⇄大阪梅田@290×2 ／大阪⇄新大阪@180×2 出張調査報告書は支出書No10に添付				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

(会派名または議員名 持田 ちえ)

政務活動費支出書

支出科目	事務費	内 訳	事務消耗品費	支出番号	15
支 出 日	2025年5月25日		支出金額	550 円	
支 出 先	文化芸術センター				
支出内容	ノート代				

<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可

ポイン


Takarazuka Arts Center

文化芸術センターショップ

〒665-0844

兵庫県 宝塚市

武庫川町

0797-62-6800

takarazuka-arts-center.jp

レシート番号: 18FO

領収書

持田 ちえ 様

2025年5月25日

Visa (5524)

小計 ￥550

A 消費税 (10%) [内税] ￥50

合計 ￥550

税率 税抜 税金 合計

A (10%) ￥500 ￥50 ￥550

Visa (タッチ決済) ￥550

但し:

商品代として

(ノート)

上記正に領収いたしました

(会派名または議員名 持田 ちえ)

政務活動費支出書

支出科目	事務費	内 訳	事務消耗品費	支出番号	16
支 出 日	2025年12月7日		支出金額	698 円	
支 出 先	COMPASS川西店				
支出内容	ノート代				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

0000-6272

2025年12月 7日日曜日

領 収 証
様

持田 ちえ

¥698-

(消費税等 ¥63)

ノート代

但し、
COMPASS 川西店
TEL:072-767-6651
*保管上のお願い

兵庫県川西市栄町25-1 アステ川西 B1F

登録番号 T7122001006008

財布等で保管戴く場合、印刷面を内側に折って保管願います。

担当者

領収証No

COMPASS

COMPASS川西店
兵庫県川西市栄町25-1 アステ川西 B1F
TEL:072-767-6651

2025年12月 7日(日)No0

常備持価	¥698
小 計	¥698
10%対象	¥698
10%税	¥63
合 計	¥698
(うち消費税等	¥63)
お預り	¥1,000
お釣り	¥302

点数 1
登録番号 T7122001006008

1責

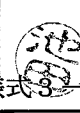
6272 16時42分

別紙様式 1

(会派名または議員名 持田 ちえ)

政務活動費支出書

支出科目	研究・研修会費	内 訳	旅費	支出番号	17
支 出 日	2025年7月12日		支出金額	12,960 円	
支 出 先	JR東海				
支出内容	新大阪⇄名古屋 新幹線				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

供 覧	議 長	副議長	局 長	次 長	課 長	副課長	係 長	係	合 議
									

出張調査（研究・研修会参加）報告書 ✓

宝塚市議会議長 様

議員名（※） 持田 ちえ

（※）自署しない場合は記名押印してください。

出張調査（研究・研修会参加）の結果について、次のとおり報告します。

- 1 調査先（研究・研修会会場） 名古屋市立大学病院大ホール
（愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1）
- 2 期 間 令和7年7月13日 ～ 令和7年7月13日
- 3 出張者氏名（議員名） 持田 ちえ
- 4 調査項目、テーマ ※調査結果の概要、所見等については別紙を添付
第12回 地域連携セミナー「不登校 わかるとかわる ～理解と対応の基本～」
岐阜大学大学院医学系研究科 小児科学
岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科 構造医学 教授 加藤 善一郎 氏

5 旅費

①鉄道賃等

月 日	交通機関	経 路	金 額	領収書の有無※	備 考
7/13	阪急バス	山手台三丁目～山本	240円	有 ☒ 無	
7/13	阪急電車	山本～大阪梅田	290円	有 ☒ 無	
7/13	JR	大阪～新大阪	180円	有 ☒ 無	
7/13	JR	新大阪～名古屋	6,480円	☒ 有 無	
7/13	メトロ	名古屋～桜山	270円	有 ☒ 無	
7/13	メトロ	桜山～名古屋	270円	有 ☒ 無	
7/13	JR	名古屋～新大阪	6,480円	☒ 有 無	
合 計			(14,210円)		

※原則として領収書の添付が必要だが、券売機での切符購入等で領収書が徴しがたい場合は、2,000円以内の支出に限り、本報告書への記入をもって領収書の添付に代えるものとする。

②宿泊費

人	泊	金 額	計	円
6	交通費	ガソリン代		円
		高速代		円
		駐車場代		円
		自動車借上料		円
		計		円

7 出席者負担金・会費 @ × 人 =

参加費（1,000円）については、
政務活動費から支出しないとも
確認済

【記入要領】

- ア 出張調査（市内を除く）、研究・研修会参加（市外、市内とも）の場合、この報告書を作成すること。
- イ 調査（研究・研修）結果の概要、所見等については別紙を添付すること（書式は任意）。
- ウ 鉄道賃等は、現に要した実費を記入すること（領収書を別紙に添付する）。
- ただし、行程等については経済的かつ合理的な経路及び方法によるものとする。
- エ 通常の経路以外の経路を用いた場合は、その合理的な理由を備考欄に記入すること。
- オ 宿泊費は、上限額（宝塚市職員等の旅費に関する条例施行規則（令和7年規則第11号）別表の区分に応じた宿泊費基準額（職員の旅費の級別が1級の者）に相当する額）以内で現に要した実費を記入すること（領収書を別紙に添付する）。
- カ 鉄道賃等と宿泊費がセットになっている場合は、鉄道賃等の項に合計金額を記入し、その旨を備考欄に付記すること。
- キ 交通費は、自家用車（バイクを含む）等を利用した場合に記入すること（領収書を別紙に添付する）。
- ク 出席者負担金・会費は、支出があった場合に記入すること（領収書を別紙に添付する）。



旅費計算書

月 日	交通機関	経 路	金 額	備 考
7/13	JR	新大阪～大阪	180円	領収書無
7/13	阪急電車	大阪梅田～山本	290円	領収書無
7/13	阪急バス	山本～山手台三丁目	240円	領収書無
		～		
合 計			(710円)	

合計 14920円

※ 市内における調査のために交通機関を利用した場合で、券売機での切符購入等で領収書が徴しがたいときは、2,000円以内の支出に限り、本計算書への記入をもって領収書の添付に代えるものとする。

ご利用日	ご利用店名	ご利用 金額	支払 区分	今回 回数	お支払い金額	(お支払い総額)		(内手数料)		備考
						現地通貨額	略称	換算レート	換算日	
****	***		***							*
****	***		***							*
****	*****		**							*
****	*		***							*
****	*****		**							*
****	*****		**							*
****	*****		**							*
****	*****		***							*
****	***		***							*
****	*****		***							*
25/07/12	スマートEX (JR東海)	6,480								◎
25/07/12	スマートEX (JR東海)	6,480								◎
****	*****		***							*
****	*****		**							*
****	**		**							*
****	*****		***							*
*****						*				

****	*****		**							*
****	*****		***							*
****	*****		**							*
****	***		***							*
****	*****		***							*
****	*****		**							*
****	*****		**							*
****	*****		***							*
****	*****		***							*
****	**		**							*
****	*****		**							*
****	*****		***							*
****	*****		***							*
****	***		***				*****			*
****	*****		***							*
****	*****		**							*
****	*****		***							*
****	*****		**							*
****	***		***							*
****	*****		***							*
****	*****		**							*

※ 備考の◎印はポイントの対象利用となります。

地域連携セミナー参加報告書

「不登校 わかるとかかわる ～理解と対応の基本～」

1. 概要

令和7年7月13日に名古屋市立大学病院にて開催された地域連携セミナーに参加した。本セミナーでは、岐阜大学大学院医学系研究科 小児科学の加藤善一郎教授より、不登校の理解と支援のあり方について講義が行われた。

2. 内容の要旨

講義では、不登校を「問題行動」として捉えるのではなく、子どもが置かれている状況や背景から理解することの重要性が強調された。

不登校の要因は一つではなく、心理的要因、家庭環境、学校環境、発達特性などが複雑に絡み合っている。

また、対応においては「登校させること」を目的とするのではなく、子どもの安心・安全の確保と信頼関係の構築が最優先であるとされた。

無理な登校刺激はかえって状況を悪化させる可能性があり、本人の状態に応じた段階的な関わりが必要である。

さらに、医療・教育・家庭の連携の重要性にも言及され、それぞれが役割を分担しながら、子どもを中心に据えた支援体制を構築することが求められるとされた。

3. 学び・気づき

本講義を通じて、不登校を「解決すべき課題」として捉える視点から、「子どもからのサイン」として受け止める視点への転換の重要性を学んだ。

特に、「何ができないか」ではなく「今できていること」に目を向ける関わりが、子どもの自己肯定感を支える基盤となるという点が印象的であった。

また、支援する側の焦りや価値観が、無意識のうちに子どもを追い込む可能性があることにも気づかされた。

4. 今後への活かし方

本セミナーで得た知見は、学校現場だけでなく、行政としての施策検討においても重要であると感じた。

特に、不登校支援を「学校に戻すための施策」に限定するのではなく、子どもの多様な育ち方を支える視点で捉える必要がある。

また、教育・福祉・医療の連携体制の強化や、保護者への理解促進、地域全体で子どもを支える仕組みづくりが求められる。

今後は、「支援の量」ではなく「関わりの質」に着目し、子ども一人ひとりの状況に応じた柔軟な支援のあり方について検討していきたい。

名古屋市立大学
看護地域連携センター事業

共
催

文部科学省（ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業）
なごや保育所・学校看護師エンパワメントセンター



対面は当日参加可。
遠隔参加受付延長中！

第12回 地域連携セミナー

不登校 わかるとかわる ～理解と対応の基本～

岐阜大学大学院医学系研究科 小児科学
岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科 構造医学

教授 加藤 善一郎 先生



看護地域連携
センターHP

◆ 日時：2025年7月13日(日)

14:00～16:00 受付13:30～

◆ 会場：名古屋市立大学病院 3階大ホール

◆ 定員：対面 200人 遠隔200人 ※先着順

◆ 申込方法：対面：当日受付(直接お越しください)

※ 対面参加の方は、当日現金で参加費をお支払ください。

遠隔：7月7日まで受付延長中！

メールにてお申込みのうえ、事前支払いをお願いします。

申込方法は看護地域連携センターHPをご確認ください。

◆ 参加費：1,000円 ※学部生・大学院生は無料（対面のみ）です！

※ 台風等災害で中止となる場合は、看護地域連携センターホームページでお知らせします。



主催 名古屋市立大学看護地域連携センター
名古屋市立大学病院

名古屋市立大学医学部附属東部医療センター・西部医療センター
名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院・みらい光生病院

3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに



(会派名または議員名 持田 ちえ)

政務活動費支出書

支出科目	研究・研修会費	内 訳	旅費	支出番号	18
支 出 日	2025年7月13日		支出金額	1,960 円	
支 出 先	阪急バス/阪急電車/JR/ 名古屋メトロ				
支出内容	7/13 山手台3丁目⇄阪急山本駅@240×2/ 山本⇄大阪梅田@290×2/大阪⇄新大阪@180×2/ 名古屋⇄桜山@270×2 出張調査報告書は支出書No17に添付				
＜領収書等添付欄＞ 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

別紙様式 1

(会派名または議員名 持田 ちえ)

政務活動費支出書

支出科目	研究・研修会費	内 訳	出席者負担金・会費	支出番号	19
支 出 日	2025年11月28日		支出金額	20,000 円	
支 出 先	生物多様性の杜 坂田 昌子				
支出内容	生物多様性の杜・第6期 参加費				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

供 覧	議 長	副議長	局 長	次 長	課 長	副課長	係 長	係	合
									職
	出張調査（研究・研修会参加）報告書								

宝塚市議会議長 様

議員名（※） 持田 ちえ

（※）自署しない場合は記名押印してください。

出張調査（研究・研修会参加）の結果について、次のとおり報告します。

1 調査先（研究・研修会会場）

2 期 間 令和7年10月17日（開校）～ 令和8年4月3日（修了式）

3 出張者氏名（議員名） 持田 ちえ

4 調査項目、テーマ ※調査結果の概要、所見等については別紙を添付

オンライン勉強会 「生物多様性の杜」第6期の受講 講師 坂田 昌子 氏
第1回：生物文化多様性とは？～自然と人間の関係史～、第2回：草と虫をめぐる文化
～二十四節季七十二候～、第3回：生と死をめぐる文化の多様性、第4回：日本の芸術
と生物多様性、第5回：精神文化の多様性

5 旅費

①鉄道賃等

月 日	交通機関	経 路	金 額	領収書の有無※	備 考
		～		有・無	
		～		有・無	
		～		有・無	
		～		有・無	
		～		有・無	
		～		有・無	
		～		有・無	
合 計			円		

※原則として領収書の添付が必要だが、券売機での切符購入等で領収書が徴しがたい場合は、2,000円以内の支出に限り、本報告書への記入をもって領収書の添付に代えるものとする。

②宿泊費

人	泊	金 額	計	円
6	交通費	ガソリン代		円
		高速代		円
		駐車場代		円
		自動車借上料		円
		計		円

7 出席者負担金・会費 @ 20,000 × 1 人＝ 20,000 円

【記入要領】

- ア 出張調査（市内を除く）、研究・研修会参加（市外、市内とも）の場合、この報告書を作成すること。
- イ 調査（研究・研修）結果の概要、所見等については別紙を添付すること（書式は任意）。
- ウ 鉄道賃等は、現に要した実費を記入すること（領収書を別紙に添付する）。
ただし、行程等については経済的かつ合理的な経路及び方法によるものとする。
- エ 通常の経路以外の経路を用いた場合は、その合理的な理由を備考欄に記入すること。
- オ 宿泊費は、上限額（宝塚市職員等の旅費に関する条例施行規則（令和7年規則第11号）別表の区分に応じた宿泊費基準額（職員の旅費の級別が1級の者）に相当する額）以内で現に要した実費を記入すること（領収書を別紙に添付する）。
- カ 鉄道賃等と宿泊費がセットになっている場合は、鉄道賃等の項に合計金額を記入し、その旨を備考欄に付記すること。
- キ 交通費は、自家用車（バイクを含む）等を利用した場合に記入すること（領収書を別紙に添付する）。
- ク 出席者負担金・会費は、支出があった場合に記入すること（領収書を別紙に添付する）。



領 収 書

2025年11月28日

持田知恵

様

下記、正に領収いたしました。

金額： ￥20,000

但 生物多様性の杜・第6期 参加費として

生物多様性の杜

坂田昌子



東京都八王子市高尾町2030

生物多様性の杜 第六期 報告

生物多様性の杜第六期では、地域の自然環境の保全と再生を目的に、市民・行政・専門家が連携しながら取組を進めてこられた講師に坂田昌子氏を迎え、「自然を守る対象として捉えるのではなく、人が自然の一部として関わる」という視点のもと、実践してきたことをオンラインで学んだ。

在来種の保全および外来種対策、森林整備・里山管理（間伐・下草刈り等）、自然観察会・フィールドワークの実施、子ども向け自然体験プログラムの開催、地域団体・学校との連携による学びの機会創出

成果

生物多様性に対する理解の深化と意識の変化

子どもたちの原体験としての自然との関わりへの創出

市民主体の活動の広がりとの担い手の育成

一部エリアにおける植生回復や生き物の多様性の兆し

課題

担い手の固定化・高齢化

継続的な参加の仕組みづくりの不足

成果が短期的に見えにくいことによる理解の難しさ

活動の意義や価値の共有不足

今後の方向性

第六期の学びを踏まえ、今後は以下の視点が重要である。

「保全活動」から「関係性の再構築」への転換

子ども・若者の参画による持続可能な担い手の育成

教育・地域活動・福祉との横断的な連携

日常の中で自然と関わる機会の創出

講義テーマ

生物多様性とは？—自然史と人間の関係史—

草と虫をめぐる文化—二十四節季七十二候—

精神文化の多様性—先住民文化の「憧れ」を越えて—

まとめ

本取組を通じて、生物多様性は特別なテーマではなく、私たちの暮らしと地続きのものであることが再認識された。今後は、自然を外側に置くのではなく、「ともに生きる存在」として捉え直し、地域全体でその価値を共有していくことが求められる。

また、講義には受講生との間で意見を交わす時間が設けられ、ただ話を聞くにとどまらず、自分の考えや感じたことをアウトプットでき、自身の役割を考える機会ともなった。

「生物多様性の杜」第6期について

2025年10月17日(金)開校

～2026年4月3日(金)修了式

内容

・5回の講義(月1)

☾ オンライン茶話会(月1)

・2回の合宿(希望者のみ、マガンツアーなど)

講義について

生物多様性の専門家・坂田昌子さんの連続講義

第6期のテーマは「生物多様性と文化多様性」

☾ 第1回：生物文化多様性とは？

－自然と人間の関係史－

第二回：草と虫をめぐる文化

－二十四節季七十二候－

第三回：生と死をめぐる文化の多様性

第四回：日本の芸術と生物多様性

第五回：精神文化の多様性

ー先住民文化への「憧れ」を越えてー

オンライン茶話会

オンラインで、コミュニティメンバー同士でワイワイお話しします🍰

テーマは、いろいろ!

「講義、ぶっちゃけどう思った?」

「推しの場所どこ?」

「〇〇に困ってるけど、どうしたらいい?」

生物多様性の杜の主体は、コミュニティ。

飲み物を片手に、コミュニティメンバー同士気兼ねなく話す場をひらいています。

詳細・お申し込み

📅お申し込み締切: 10月5日

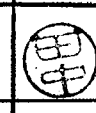
詳細・お申し込みはこちらから

別紙様式 1

(会派名または議員名 持田 ちえ)

政務活動費支出書

支出科目	研究・研修会費	内 訳	旅費	支出番号	20
支 出 日	2026年3月14日		支出金額	73,463 円	
支 出 先	ANA/agoda				
支出内容	大阪空港⇄宮崎空港 航空機代				
＜領収書等添付欄＞ 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

供 電	議 長	副議長	局 長	次 長	課 長	副課長	係 長	係	合
									
	出張調査 (研究・研修会参加) 報告書 ✓								

宝塚市議会議員 様

議員名 (※) 持田ちえ

(※) 自署しない場合は記名押印してください。

出張調査 (研究・研修会参加) の結果について、次のとおり報告します。

- 調査先 (研究・研修会会場) 宮崎県立美術館 アートホール
(宮崎県宮崎市船場 3丁目 210)
- 期 間 令和 8年 3月 15日 ~ 令和 8年 3月15 日
- 出張者氏名 (議員名) 持田ちえ
- 調査項目、テーマ ※調査結果の概要、所見等については別紙を添付
こどもの育ちに、文化芸術が及ぼす影響について

5 旅費

①鉄道賃等

月 日	交通機関	経 路	金額	領収書の有無※	備 考
3/15 ✓	阪急バス ✓	山手台三丁目～阪急山本駅	250円	有・無 ✓	
3/15 ✓	阪急電車 ✓	山本～蛸池 ✓	200円	有・無 ✓	
3/15 ✓	大阪モノレール ✓	蛸池～大阪空港	200円	有・無 ✓	
3/15 ✓	JR ✓	宮崎空港～宮崎神宮	400円	有・無 ✓	
3/15 ✓	JR ✓	宮崎神宮～宮崎空港	400円	有・無 ✓	
3/15 ✓	大阪モノレール ✓	大阪空港～蛸池	200円	有・無 ✓	
3/15 ✓	阪急電車 ✓	蛸池～山本 ✓	200円	有・無 ✓	
合 計			(1,850円)		

※原則として領収書の添付が必要だが、券売機での切符購入等で領収書が徴しがたい場合は、2,000円以内の支出に限り、本報告書への記入をもって領収書の添付に代えるものとする。

②宿泊料

1人	1泊	金額	計	0 円
6 交通費	ガソリン代			円
	高速代			円
	駐車場代			円
	自動車借上料			円
	計			円

7 出席者負担金・会費 @ × 人 = 円 参加無料

【記入要領】

- ア 出張調査 (市内を除く)、研究・研修会参加 (市外、市内とも) の場合、この報告書を作成すること。
- イ 調査 (研究・研修) 結果の概要、所見等については別紙を添付すること (書式は任意)。
- ウ 鉄道賃等は、現に要した実費を記入すること (領収書を別紙に添付する)。
ただし、行程等については経済的かつ合理的な経路及び方法によるものとする。
- エ 通常の経路以外の経路を用いた場合は、その合理的な理由を備考欄に記入すること。
- オ 宿泊料は、上限額 (13,000円) 以内で現に要した実費を記入すること (領収書を別紙に添付する)。
- カ 鉄道賃等と宿泊料がセットになっている場合は、鉄道賃等の項に合計金額を記入し、その旨を備考欄に付記すること。
- キ 交通費は、自家用車 (バイクを含む) 等を利用した場合に記入すること (領収書を別紙に添付する)。
- ク 出席者負担金・会費は、支出があった場合に記入すること (領収書を別紙に添付する)。



旅費計算書

月 日	交通機関	経 路	金額	備 考
3/15 ✓	阪急バス	阪急山本駅～山手台三丁目 ✓	250円	✓
3/15	飛行機	大阪空港～宮崎空港	36,200	領収書有
3/15	飛行機	宮崎空港～大阪空港	37,263	領収書有
		～		
		～		
		～		
		～		
合 計			(73713250円)	

総合計

75563円

※ 市内における調査のために交通機関を利用した場合で、券売機での切符購入等で領収書が徴しがたいときは、2,000円以内の支出に限り、本計算書への記入をもって領収書の添付に代えるものとする。



A STAR ALLIANCE MEMBER

領 収 書

RECEIPT

収納年月日 2026年 3月15日

宛名
RECEIVED FROM

持田ちえ

様

金額
THE SUM OF

¥36,200(税込)

印紙税申告納
付につき芝
税務署承認済

但し
IN PAYMENT OF

旅客運賃・料金として

ISSUED DATE

支払方法
FORM OF PAYMENT

クレジットカード ¥36,200:三井住友カード

税率内訳
TAX DESCRIPTION

消費税10%対象 ¥36,200(税込)

上記の金額正に領収いたしました。
I received the amount indicated above.

備考 REMARKS

■ご旅程

1. 2026年 3月15日

ANA

501 便

大阪

→

宮崎

本領収書は再発行できません。
This receipt can not be reissued.

登録番号 : T1010401099027
発行日 : 26-03-15
発行所 : 伊ミカコ
LSN : 48025

全日本空輸株式会社
ALL NIPPON AIRWAYS CO., LTD.

1L2T15
*15336



領収書

発行日 : 3月 14, 2026
搭乗者: Chie Mochida

フライト情報

 Japan Airlines	JL 2444	予約番号 1707833685
FFH394	Miyazaki Airport - Osaka International Airport	日, 15 3月, 2026 Economy

支払い確認

名 (ローマ字)	CHIE MOCHIDA
発行依頼者	
ご請求先住所	
メールアドレス	
支払い手段	Cards

料金の内訳

航空券代金	JPY 24154.0
空港諸税・燃油サーチャージ	JPY 12749.0
通常割引	JPY -729.0
決済手数料	JPY 1089.0
合計請求額	JPY 37263.0

本領収書は自動生成されたものであり、署名は必要ありません。

モチダ チエ

様

搭乗券

BOARDING PASS

ANA

A STAR ALLIANCE MEMBER

大阪/伊丹
OSAKA/ITAMI



宮崎
MIYAZAKI

3/15 07:30 発

08:40 着

マイレージ (Mileage): ANM NHF
受付済 (accepted)

便名 FLIGHT	搭乗口 GATE	搭乗締切時刻 Boarding Close	座席 / 搭乗順 SEAT / GROUP
ANA501	4A	07:20	15K/Group3

イミグレーション

(LSN: 47354)

DAF: 15MAR26

3/15 7:01

BP 1

PNR: C7GTN

OR: 1L2T15

FARE: FXD

BN: 90

保安検査場は

20分前

までに

お越しください

搭乗口へは

10分前

までに

お越しください

出発時刻は

飛行機が動き出す

時刻です

Please proceed to the gate in up to 10 minutes before departure.

モチダ チエ

3/15 ANA 501

FROM 大阪/伊丹

TO 宮崎

FARE: FXD

BN: 90

SN: 15K



JAPAN
AIRLINES



ご搭乗券

BOARDING PASS

MOCHIDA/CHIE

様

034

MOCHIDA/CHIE

様 034

JAL2444

2026

03/15

出発時刻
DEPTIME

19:10

普通席

出発地
FROM MIYAZAKI

到着地
TO OSAKA INTL (ITAMI)

Operation J-AIR

FROM

MIYAZAKI

TO

OSAKA INTL (ITAMI)

JAL2444 Y

03/15

搭乗口
GATE

11

搭乗締切時刻
BOARDING CLOSE TIME

19:00

座席
SEAT

23A

SEAT 23A

MHJTBJAP



保安検査場は 20 分前までに通過してください。

PLEASE PASS THE SECURITY CHECK AT LEAST 20 MINUTES IN ADVANCE.

BOARDING GROUP 3

MHJTBJAP

出発時刻の10分前までに
搭乗口へお越しにならなかった場合は
ご搭乗いただけません。

ETKT

PLEASE BE AT THE GATE AT LEAST 10 MINUTES
BEFORE DEPARTURE OR YOU WILL NOT BE ABLE TO
BOARD THE AIRCRAFT.

講演会「文化芸術は、未来を育てる力になる。」

「文化芸術は、子どもたちの心を育て、自分らしさを見つける力になります。

ところが今、少子化による学校の小規模化や経済的な事情などから、子どもたちが文化芸術に触れる機会が減少し、文化芸術との出会いの機会の格差が広がっています。

「どこでも、だれでも、等しく文化芸術との出会いの機会を。」

子どもたちの未来のために、そして文化芸術をつなぐアーティストの未来のために、私たち大人ができることを、ともに考えてみませんか。

この講演会では、文化芸術の本質を考えている方のお話をきくことができた。文化芸術はプラスアルファや贅沢なものではなく、生きていくために必要なものである。宝塚市の文化芸術の考え方や方向性の転換なくして、こども施策などあらゆるアプローチがイベント化ややったことを目的とする事業になりかねない懸念がある。今回、永山さんとのご縁ができ、必要であれば宝塚市にもお話にきてくださるというお話もいただいたことから、行政として関われるような形を模索していく。

2026年3月15日（日）13：30～16：00（開場13：00）

宮崎県立美術館アートホール

1.基調講演

「ある」を味わう～生きていくための杖としての文化～

永山 智行氏（劇団こふく劇場主宰）

2.トークセッション

「どこでも、だれでも、等しく文化芸術との出会いの機会を。」

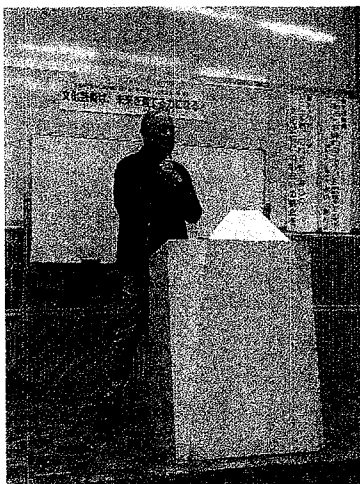
ファシリテーター：永山 智行氏（劇団こふく劇場主宰）

山森 達也氏（アーツカウンシルみやざき プログラムディレクター）

豊福 彬文氏（んまつーポス 代表）

香月 保乃氏（一般社団法人宮崎県ジャズ協会 代表理事）

土田 浩氏（NPO 法人みやざき子ども文化センター 理事）



Creating a future for children and artists forum

文化芸術は、未来を育てる力になる。

文化芸術は、子どもたちの心を育て、自分らしさを見つける力になります。
ところが今、少子化による学校の小規模化や経済的な事情などから、子ども
たちが文化芸術に触れる機会が減少し、文化芸術との出会いの機会の格差が
広がっています。

「どこでも、だれでも、等しく文化芸術との出会いの機会を。」
子どもたちの未来のために、そして文化芸術をつなぐアーティストの未来のため
に、私たち大人ができることを、ともに考えてみませんか。

1 基調講演



「ある」を味わう

～生きていくための杖としての文化～

永山 智行 氏（劇団こふく劇場主宰）

都城市出身の劇作家、演出家。宮崎県の三股町立文化会館を
拠点に活動する劇団「こふく劇場」代表。

conference

2 トークセッション

「どこでも、だれでも、等しく文化芸術との出会いの機会を。」

ファシリテーター：永山 智行氏（劇団こふく劇場 主宰）

ゲスト：山森 達也氏（アーツカウンシルみやざき プログラムディレクター）

豊福 彬文氏（人まっぽす 代表）

香月 保乃氏（一般社団法人宮崎県ジャズ協会 代表理事）

土田 浩氏（NPO法人みやざき子ども文化センター 理事）

3月15日 日 13:30-16:00 〈開場13:00〉

会場：宮崎県立美術館アートホール

宮崎市船場3丁目210

定員
80名

参加
無料

要
申込

contact information

お申込み・お問合せ

NPO法人みやざき子ども文化センター
TEL: 0985-61-7590
MAIL: center@kodomo-bunka.org

*右の二次元コードからもお申込みいただけます



主催：NPO法人みやざき子ども文化センター
後援：宮崎日日新聞社・NHK宮崎放送局
MRT宮崎放送・UMKテレビ宮崎
劇団こふく劇場
一般社団法人宮崎県ジャズ協会

別紙様式 1

(会派名または議員名 持田 ちえ)

政務活動費支出書

支出科目	研究・研修会費	内 訳	旅費	支出番号	21
支 出 日	2026年3月15日		支出金額	2,100 円	
支 出 先	阪急バス／阪急電車／ 大阪モノレール/JR				
支出内容	7/13 山手台3丁目⇄阪急山本駅@250×2/ 山本⇄蛍池@200×2／蛍池⇄大阪空港@200×2/ 宮崎空港⇄宮崎神宮@400×2 出張調査報告書は支出書No20に添付				
＜領収書等添付欄＞ 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

別紙様式 1

(会派名または議員名 持田 ちえ)

政務活動費支出書

支出科目	広報費	内 訳	広報紙・報告書印刷費	支出番号	22
支 出 日	2026年3月3日		支出金額	60,000 円	
支 出 先	岡部 みゆき				
支出内容	市政報告書 製作費一式				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

領収書

発行日： 2026/3/3

持田 ちえ 様

¥60,000 - (消費税込)

但し、 市政報告書制作費一式（振込手数料調整分含む） として

上記、正に領収いたしました

岡部 みゆき

所在地： 〒665-
兵庫県宝塚市

TEL：



子どもは未来 今、ワクワクしよう！

私は市議会議員である前に、子どもを育て、働き、税を納めながら暮らす一人の宝塚市民です。日々の生活の中で、子どもや暮らしのことについて「もっとこうなったらいいな」と感じる場面は少なくありません。とはいえ、それは不満と呼ぶほどのものではなく、工夫を重ね、踏ん張りながら毎日をやりくりしています。

市議会議員になって4年目を迎えました。今、社会が当たり前のように選択していることは、本当に子どもたちが生きていく力につながっているのだろうか。そんな疑問を抱くことがあります。

声をあげる人だけで、まちをつくっていいのか

今の市政は、声をあげた少数の意見や、特定の困りごとの解決が、議論の中心になりやすい構造にあります。もちろん、困りごとの解決や支援の必要性を否定するものではありません。一方で、特別に声をあげることはなくとも、子育てに悩み、仕事や家事と向き合いながら、より良い暮らしや社会を願っている人が大多数です。そうした人たちの想いや感覚が、市政の判断の前提から見えにくくなってはいないか。私は、そうした構造そのものを見直す必要があると考えています。

子どもを「守る」だけでなく、「育てる」市政へ

子どもを守ることは、市政の大切な役割です。しかし、それだけでは十分とは言えません。子どもが社会と関わり、失敗し、考えながら、自分なりの判断基準を育むことを見守る立ち位置が欠かせません。守るとは、過度に手をかけることではなく、そうした過程を支えることだと私は考えています。この視点が、今の市政にはもっと必要です。

子ども支援のめざす姿

子ども支援とは、その子の一步一步を祝福し、もし立ち止まっても「また挑戦できる」と思える社会のあり方そのものです。子どもは守られ続ける存在ではありません。「自分だったら大丈夫」と自分を信頼し、試行錯誤しながら社会で生きていけるようになること。そのために本当に必要なものを整えることが、先に生まれた私たち大人の役割です。感性を育むこと、多様な人と関わること、そして何より、体験を重ねること。支援とは、単に環境や制度を整えることではなく、育ちのタイミングを見誤らず、ここぞという時に適切に関わることだと思います。大人の時間軸ではなく、「子ども」という時間を大切にすること。先回りせず、安全とリスクをきちんと整理しながら伴走していくこと。それが、本質ではないでしょうか。

物事の本質を、見失わない。

さまざまな施策が、新しく始まり、また削られていきます。
耳当たりの良い言葉や一見した優しさにとどまらず、「本当に意味のあること」を選ぶこと。
そうした判断軸を大切に、市政に取り組んでいきます。

1

掲げたビジョンを
かたちにするために
なぜやるのか
どう実行するのか
明確にしていきたい

施策が目的化し、その先にある市民の暮らしが見えにくくなっていないか。個々の施策を点として並べるのではなく、将来のまちの姿へとつながる流れとして捉える視点が必要ではないでしょうか。そうした観点から、市政の施策のあり方を問い直しました。

一般質問での問い／

- ・平和の再定義
- ・公共福祉とソーシャルグッド
- ・職員の判断と、ビジョンの共有
- ・部局横断を推進する体制
- ・子どもの育ちに必要な教育の考え方

2

自分の人生を
かじ取りできる
子どもを
育てたい

その土台は学校での体験学習をはじめとする多様な体験です。しかし今、削減や形骸化が進んでいます。代替案がないままやめてしまうことの影響は何か。私たちが子どもたちに育んでほしいのは何か。その本質を改めて問い直す必要があります。

一般質問での問い／

- ・転地学習・自然学校の縮小化の懸念
- ・部活動の地域移行、トライやる・ウィークのあり方
- ・給食・食の時間の教育的意義（食べる体験）
- ・包括性教育

3

子どもの
感性が育つ
時間や機会を
大切にしたい

大人都合のニーズや支援が、好奇心や試行錯誤、ぼんやり過ごす時間といった「子どもの余白」を奪ってはいないか。子どもが自分で考え、試し、立ち止まる時間こそ、感性や主体性を育てる大切な時間です。数値では測れないその育ちを、その過程を、どう捉え、どう守っていくのかを問いました。

一般質問での問い／

- ・宝塚らしい文化芸術の振興
- ・子どものための公園づくり
- ・各校の行事や取組の位置づけと評価
- ・教員の働き方改革と、子どもの時間の確保

持田ちえプロフィール

1980年生まれ

大阪府立住吉高等学校 卒業、関西大学 社会学部 産業心理学専攻 卒業
資格：高校教員免許（日本史）、宅地建物取引士

読み聞かせボランティア、山手台小学校PTA本部役員、
山手台中学校PTA会長、山手台中学校区青少年育成市民会議会長

山手台東在住：夫、高校生女子、小学生男子2人、ボーダーコリー（11歳）と暮らす
政治を身近にする実践として、みんなの「やりたい」が動き出すカフェを企画・開設

【宝塚市議会】

2023年初当選

2024年度 広報広聴委員会 副委員長

2025年度 産業建設常任委員会 副委員長



Instagram



議員発言一覧ページ

別紙様式 1

(会派名または議員名 持田 ちえ)

政務活動費支出書

支出科目	広報費	内 訳	広報紙・報告書印刷費	支出番号	23
支 出 日	2026年3月31日		支出金額	123,750 円	
支 出 先	株式会社N&K				
支出内容	市政報告書(25,000部) 印刷費 市政報告書は支出書No.22に添付				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

領 収 証

持田

様

No.

但 市政報告書印刷費

R5年 3月 31日 上記正に領収いたしました 登録番号

内訳	税率	金額(税抜税込)
	%	消費税額等
税率		金額(税抜税込)
%		消費税額等



コクヨ クケ-1097

登録番号: T1140001082178

T095004宝塚市東成町10-23

株式会社 N & K

TEL 0797-77-7155

④ 4.5円 x 25,000部 x 1.1

(会派名または議員名 持田 ちえ)

政務活動費支出書

支出科目	広報費	内 訳	送料	支出番号	24
支 出 日	2026年3月31日		支出金額	146,300 円	
支 出 先	株式会社エリアフロンティア				
支出内容	市政報告書(19,000部) 配布料金 市政報告書は支出書No.22に添付				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

領收書

発行日 2026/3/31

請求番号 00047-1

登録番号 T3140001073037

持田ちえ 様

NY 665-0887

宝塚市山手台東3

株式会社エリアフロンティア

NY 651-0084

住所：神戸市中央区磯辺通2-2-10-701B

電話： 078-221-0633

下記、正に領収いたしました。

件名 持田ちえ市政報告

合計金額(税込)

¥146,300

[illegible]

※は軽減税率対象です。

税率区分	消費税	金額(税抜)
10%対象	¥13,300	¥133,000
8%対象	¥0	¥0

小計	¥133,000
消費税	¥13,300
合計	¥146,300

備考

⑤ $7 \times 19,000 \text{ 部} \times 1.1$